

# 高・幸せ計画

高まちづくりビジョン



令和5年3月

庄原市 高自治振興区

# はじめの言葉

さて、この度、高自治振興区では、これからの10年間の展望し、まちづくり活動の指針となる「高・幸せ計画」（高まちづくりビジョン）を策定しました。

この計画は、高地区のめざすべき将来像を明らかにし、今後の活動に活かすことを目的としています。

計画の策定にあたっては、高校生以上の住民の皆さんを対象とした「地域住民アンケート調査」や多世代の方々から直接意見を聞かさせていただく「ワークショップ」を開催し、多様なご意見を頂戴しました。

その結果、様々なアイデアをいただくとともに、住民の皆さんの多くは「現在の高地区の“住み良さ”に満足されている一方で、ますます進む少子高齢化と人口減少が地域のあらゆる分野に影響を与え、地域の営みや自治の仕組み、草刈りなどの保安全管理、耕作放棄地の増加や鳥獣被害の拡大、災害発生の高まりなど、さまざまな不安を感じておられることが分かりました。

このため、高地区の将来像のイメージを「幸せ感じる“高”暮らし」とし、幸せをつくる要素を基本方針として、「楽しみのあるまち」「生きがいのあるまち」「安心あるまち」を掲げ、「楽しみ」や「生きがい」を感じる活動、さらには「安心」の仕組みをつくる地域活動を住民の皆さんとともに展開していくことで、人口が減少する状況にあっても、今まで以上に“住み良さ”を実感し、「幸せ」を感じる「高暮らし」の実現をめざしています。

今後はこうした理念を基本として「画餅に帰す」ことなく、あせらず地道に、根気よく着実に、そして、楽しく和やかに、まちづくりをすすめていきたいと強く願っています。

自治振興区は、まちづくりをすすめる中核的な自治組織ではありますが、実現のためには、地域の皆さんの参加が必要です。

これまで以上に、皆さんが楽しく、生きがいを感じながら、まちづくり活動に主体的に参加されることを楽しみにしております。

引き続きよろしくお願いいたします。

2023年3月

高自治振興区長 岡野 茂

# 目 次

1. 計画の概要	1
(1) 策定趣旨	1
(2) 計画期間	1
2. 策定体制	1
3. 自治振興区について	2
4. 高地区の現状と課題	4
(1) 現状	4
(2) 課題	6
5. めざすべき将来像	7
6. まちづくりの基本方針	8
7. 将来像の実現をめざす取り組み手法	9
8. 将来像を実現するために取り組みたい事業	10
◆ 楽しみのあるまち	10
(1) 自然や歴史文化などの地域資源を楽しむコースづくり	10
(2) 美しい風景づくり	11
(3) 交流とにぎわいを楽しむイベント	11
◆ 生きがいのあるまち	13
(1) 趣味や特技を持つ人からの学びと発表の場づくり	13
(2) 特産品・加工品づくり	14
(3) サークルや同好会活動の充実	14
(4) 生涯学習の充実	15
◆ 安心のあるまち	16
(1) 困りごとの支援	17
(2) 防災意識の啓発	17
(3) 地域不安への対応	18
(4) 高齢者や子育て世代の社会的孤立への対応	19
(5) 自治振興区の充実と活性化	20
資料編	22
1. 地域住民アンケート調査結果	23
2. 地域住民アンケート調査票	46
3. 計画策定ワークショップのまとめ	54
4. 計画策定委員会等の要綱および参画者名簿	60

# 1. 計画の概要

## (1) 策定趣旨

継続的に進む人口減少や少子高齢化により、高地区の人口は今後も減少していくことが予想されます。

さらに、コロナの感染拡大の影響により、各種行事等の中止等が続いたことで、住民のつながりは希薄化し、地域の活動は停滞傾向にあるといえます。

こうした状況の中で、高自治振興区では、これからの10年間を展望し、より良い高地区をつくっていくための地域づくり活動の指針となる「高・幸せ計画（高まちづくりビジョン）」を策定しました。

この計画は、今後10年間における高自治振興区の活動の方向性をあきらかにし、めざすべき将来像へ向けて住民の皆さんとともに計画の実現にむけて取り組んでいくことを目的としています。

## (2) 計画期間

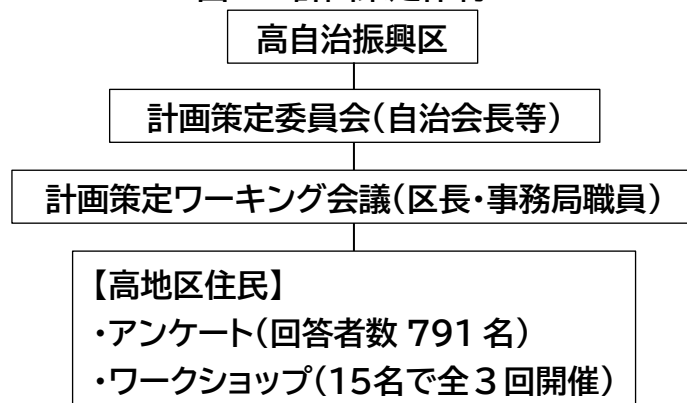
令和5年度～令和14年度（10年計画）

# 2. 策定体制

計画の策定に当たっては、高自治振興区に計画策定委員会、計画策定ワーキング会議を設置するとともに、住民アンケート調査および地域住民有志によるワークショップを開催し、住民の皆さんのご意見をうかがいました。

こうした、ご意見を基本として、策定委員会・ワーキング会議の議論を経て計画を策定しました。

図1 計画策定体制



### 3. 自治振興区について

自治振興区は、区域内の自治会や班で構成し、地域住民の相互扶助とコミュニティ、さらには良好な地域社会の維持や発展を目的とした住民自らがつくる自治組織です。

現在、高自治振興区は、高町、川西町、小用町の3つの地域の10の自治会と26の班で構成し、「自らの地域は自らがつくる」を基本として、ソフト事業を中心として、コミュニティ活動や地域の課題解決に取り組んでいます。

引き続き、地域の皆さんとともに行政と協働して、よりよい高地区の実現をめざし、まちづくりに取り組めます。

図2 高自治振興区 組織図

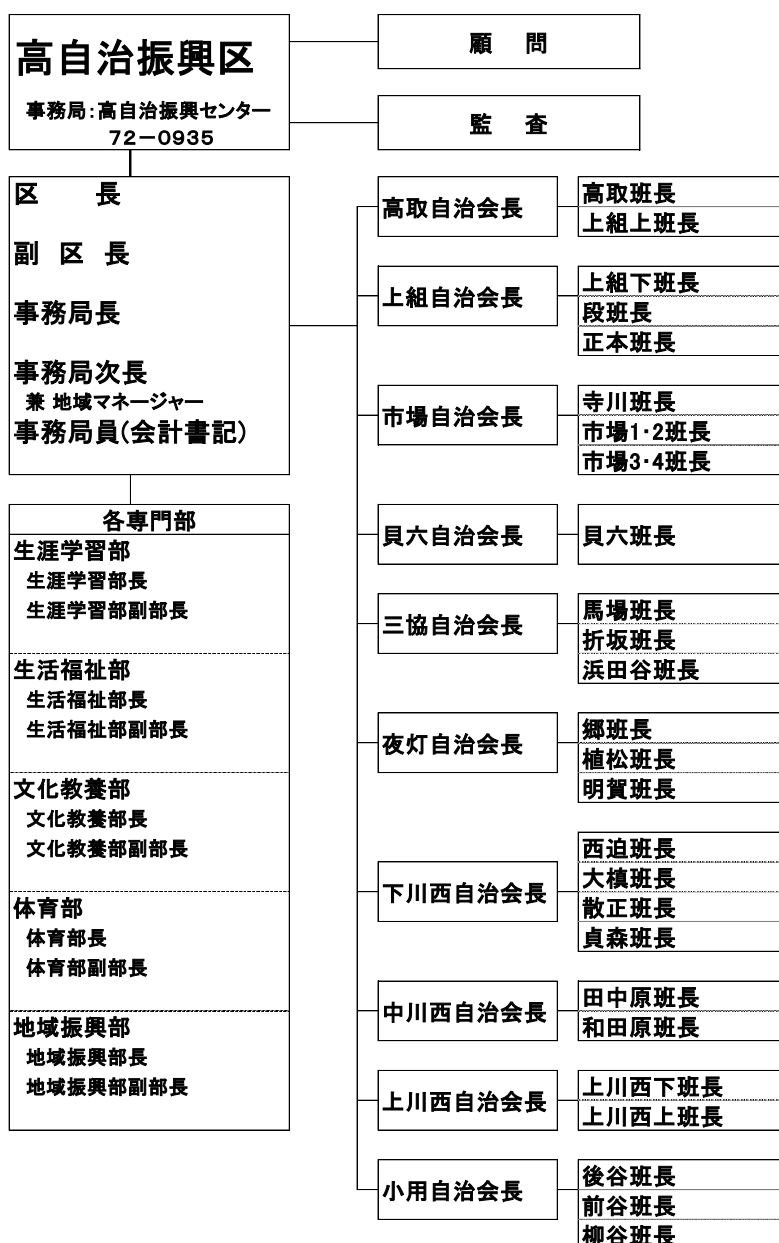
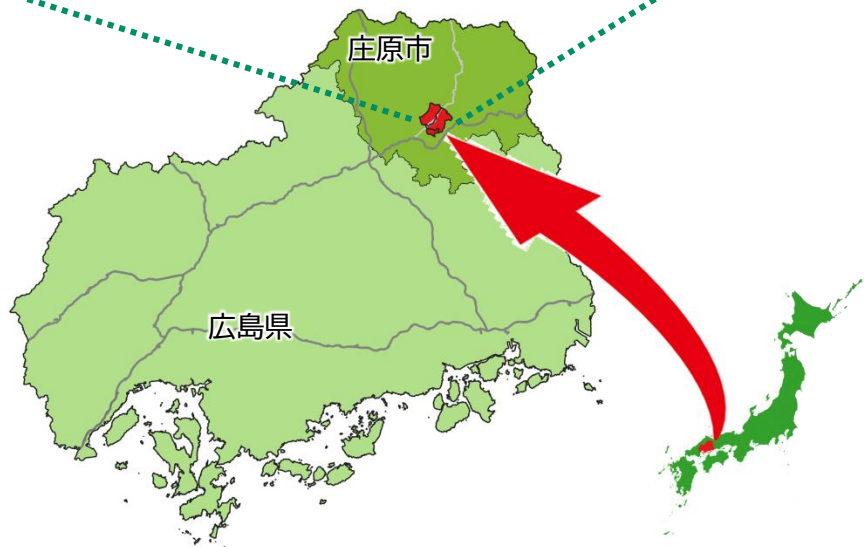
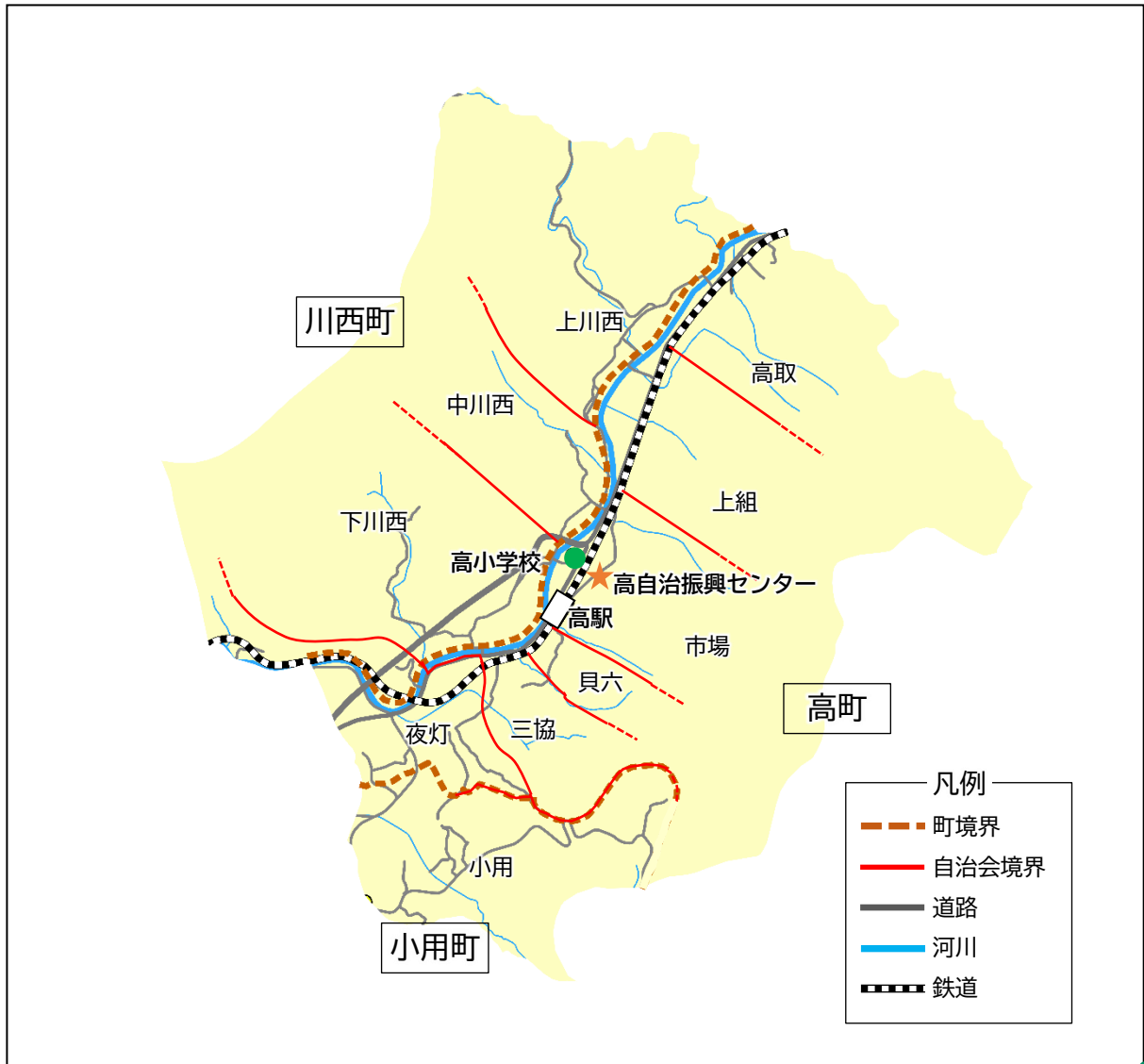


図3 高自治振興区 位置図



## 4. 高地区の現状と課題

### (1) 現状

#### (人口)

○高地区の総人口は、庄原市合併時の平成17年(3月31日現在住民基本台帳)の1,541人から、一貫して減少しており、令和4年(10月1日現在住民基本台帳)には1,130人となっており、17年間で約400人が減少しています。

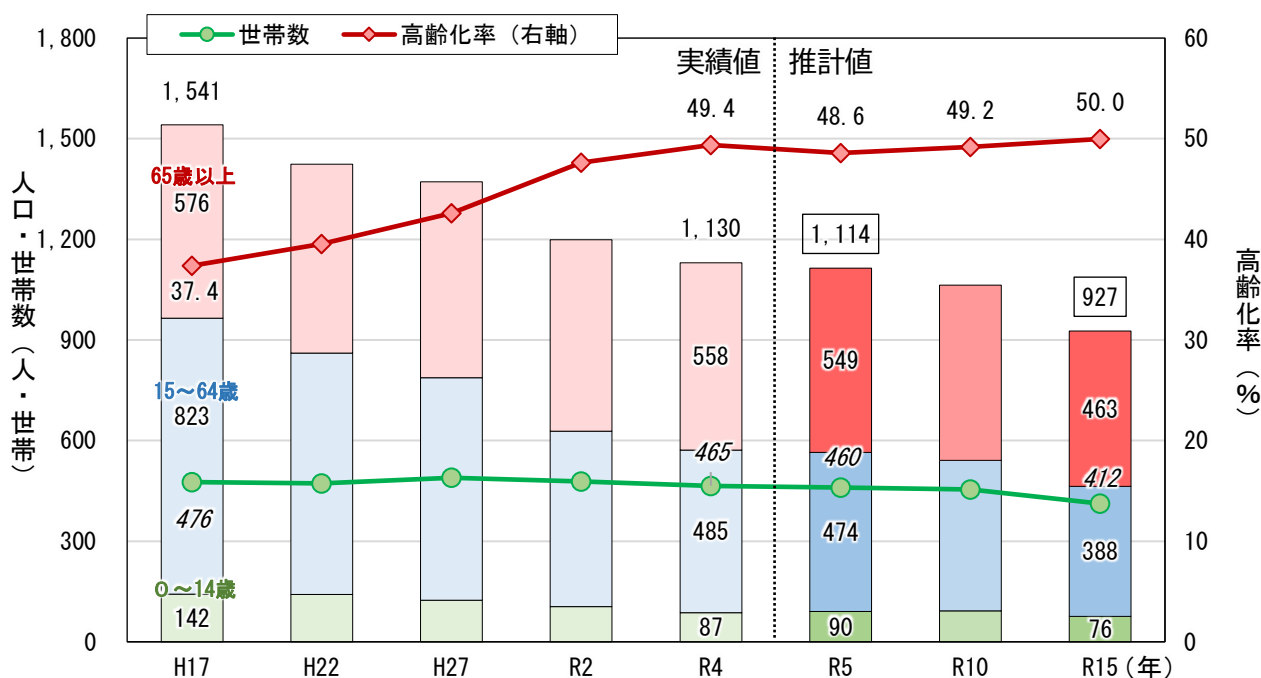
○高齢化率も37.4%から49.4%と上昇し、人口の約2人に1人が65歳以上となっています。

○世帯数は、476世帯から465世帯となり11世帯が減少しています。

1世帯当たりの人数は、3.24人から2.43人となっており、高齢夫婦世帯や高齢独居世帯が増えています。

○今後の将来人口の推移をみると、10年後の令和15年の人口は、927人となり、約200人が減少すると予測されています。

図4 高地区の人口・世帯の動向(将来推計を含む)



- ※ 1. 人口・世帯数等は住民基本台帳による。  
2. 推計値(令和5年以降)は過去の人口変化に基づき作成。

## （住環境）

- アンケート調査やワークショップでの意見では、住民の皆さんの多くは、高地区の“住みよさ”に満足されており、また、「西城川」や「要害山」、田園風景など、自然豊かな景観と「ふるさと祭り」や「盆踊り」などの地域行事に愛着を持っておられる方が大多数を占めています。
- しかしコロナの感染拡大などの影響により、地域行事の中止等による交流機会の減少や地域資源を活用する機会も減少し、高地区の素晴らしい資源に対する愛着や誇りが薄れているという意見もありました。
- また、草刈りなどの地域の保全管理、耕作放棄地の増加や鳥獣被害の拡大、災害発生リスクの高まりなど、様々な不安が指摘されています。

## （自治活動）

- 自治会活動においても、世帯数の減少や高齢化の進行、さらには、雇用延長等により、60歳代でも仕事を続ける人が多くなるなど組織や自治会など、地域活動の担い手や参画できる人たちが減少する傾向にあります。
- また、コロナの感染拡大の影響により地域活動は停滞し、地域住民の交流機会も減少傾向にあることから、地域コミュニティが希薄化するなど、自治活動の衰退が懸念されています。

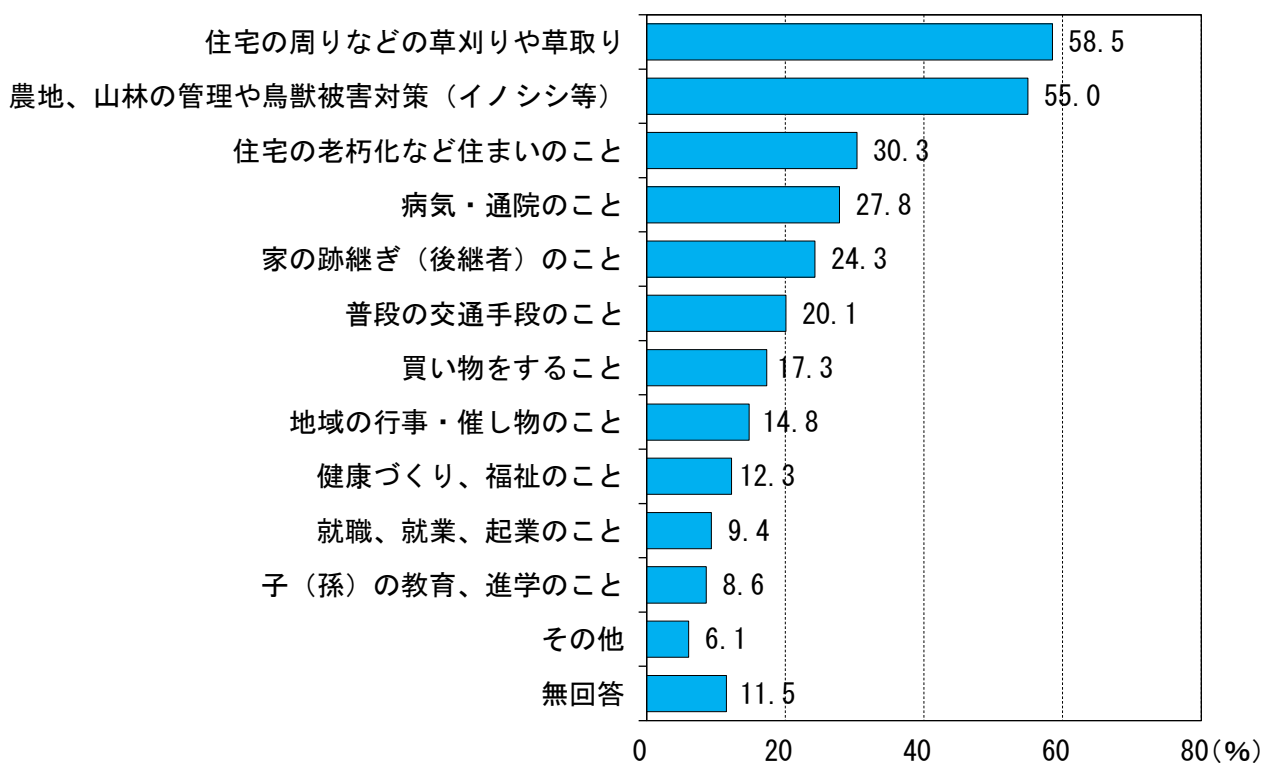




## (2) 課題

- 今後、さらに進む人口減少と少子高齢化は、地域のあらゆる分野に影響を与え、これまでの地域の営みや自治の仕組み、地域の保全等の維持が困難になっていくことが予想されます。
- 人口減少と少子高齢化がすすむ地域にあっても引き続き、住民の皆さんが「住み良さ」を実感し「幸せ」に暮らせる高地区をめざしていくことが皆さんから求められています。
- このため、今一度、地域資源を見直し、学び、さらに活用していくことが必要であり、暮らしの中に「楽しみ」や「生きがい」、「安心」を感じられるようなまちづくり活動の展開と地域を支える仕組みづくりの再構築が課題となっています。

図5 生活していく上で困っているもの、不安だと考えていること



(回答者数：791人)

※ 地域住民アンケート調査より

## 5. めざすべき将来像

住みよく、幸せな暮らしが実感できる高地区を実現するため、住民アンケート調査やワークショップ等を通じて住民の皆さんが願う、高地区のイメージをとりまとめ、高地区の将来像を次のように設定します。



高地区キャラクター  
たからちゃん

## 6. まちづくりの基本方針

住民アンケートやワークショップのご意見をもとに、高地区で幸せに暮らしていけるまちづくりを推進するため、「幸せ」をつくる3つのキーワードを基本方針として設定します。

「幸せを感じる“高”暮らし」の実現をめざし、この3つの基本方針に沿ったまちづくり活動を住民の皆さんとともに取り組みます。

### □ 「幸せ」つくる3つのキーワード

「幸せ」 = (楽しみ) + (生きがい) + (安心)

### □ 基本方針

- ◆ 楽しみのあるまち
- ◆ 生きがいのあるまち
- ◆ 安心のあるまち

#### ◆ 楽しみのあるまち

高の自然や歴史文化などの地域資源を活用し、暮らしの中に「楽しめる場」「楽しめるイベント」「地区内外の交流」など、楽しみを感じる多様な機会をつくることで、賑わいと活力を再生し、豊かな高の暮らしをつくります。

#### ◆ 生きがいのあるまち

高地区には「農林業」「鮎釣り」「庭づくり」「地域の自然や歴史・文化」などなど・・・様々な趣味や特技を持つ人がおられます。

そうした特技が活かせる学びや発表の場を創出することで、生きがいを感じながら地域で活躍できる豊かな人生を創造します。

#### ◆ 安心のあるまち

人と人との穏やかなつながりを大切にし、ともに考え、支え合い、助け合う仕組みをつくることで困りごとの解消や孤立を防ぐなど安心を感じる地域づくりをめざします。

## 7. 将来像の実現をめざす取り組み手法

高自治振興区では、地域全体の取り組みを主に担いながら、住民の皆さんが、やってみたいことを誰でも気軽に挑戦できる新たな仕組みをつくとともに、庄原市（行政）と連携しながらともに「幸せ感じる“高”暮らし」の実現をめざします。

### （１）自治振興区が取り組む事業

自治振興区は主に次の事業を取り組みます。

- ・ 高地区全体を想定した事業や比較的規模の大きい事業
- ・ 従来から実施してきた事業で希望の多かった事業
- ・ 生涯学習事業等庄原市から委託されている事業

### （２）誰でも挑戦できる「みんなのやりたいこと応援助成金（仮称）」の創設

住民アンケートやワークショップでいただいた、皆さんの「実施したいこと」・「やってみたいこと」などの提案が実現できるよう、また挑戦できるよう、やってみたい人の背中を押す「みんなのやりたいこと応援助成金（仮称）」を創設し皆さんの主体な取組を応援します。

### （３）各種補助金の活用

「みんなのやりたいこと応援助成金（仮称）」の他、事業の規模や内容、実施団体等を勘案し、自治振興区活動促進補助金（庄原市）・小さな地域づくり活動補助金（庄原市社会福祉協議会）など各種補助金を活用し、皆さんの取り組み、自治振興区の活動の活性化を図ります。



## 8. 将来像を実現するために取り組みたい事業

住民アンケートやワークショップで提案していただいた次のような事業を想定し、住民の皆さんとともに取り組むことで将来像「幸せ感じる“高”暮らし」に近づけていきます。

### ◆ 楽しみのあるまち

#### (1) 自然や歴史文化などの地域資源を楽しむコースづくり

- 地域めぐりが楽しめるコースづくり

#### (2) 美しい風景づくり

- みんなが誇れる美しい四季の風景づくり

#### (3) 交流とにぎわいを楽しむイベント

- 高駅前周辺の空き店舗や広場の活用
- 恒例行事による交流と親睦機会の充実
- 若者の活躍と交流イベントの充実
- 世代間・地域交流の促進
- 関係人口（地域外人材）との交流の促進

#### (1) 自然や歴史文化などの地域資源を楽しむコースづくり

- 西城川や田園風景などの美しい風景や景勝地、歴史文化などの地域資源を活用し地域巡りが楽しめるサイクリングコース・ウォーキングコースの実現をめざします。

#### 地域めぐりが楽しめるコースづくり

- ・「ママチャリサイクリングコース」  
田園風景・棚田・西城川沿いなど美しい景観を楽しむ走る
- ・「歴史の小径ウォーキングコース」  
町並み・古墳・社寺仏閣・歴史的風情を楽しむ歩く
- ・「回峰山歩きコース」  
要害山・篠津原・大黒目山を巡る山歩き など



## (2) 美しい風景づくり

- 高地区は桜や田園風景が美しいところです。さらに、季節を通じて楽しめる美しい景観づくりを進めるため、自治会や有志グループ、個人など地域の皆さんとともに主体的に取り組むことで高地区が誇る美しい里づくりの実現をめざします。

### みんなが誇れる美しい四季の風景づくり

- 「高・千本桜の里」  
今ある桜を守り、さらに植樹を進める桜の森づくり
- 「花の小径」「ミツバチの畑」  
田んぼや農地にレンゲやコスモス・ひまわり等の植栽による美しい風景づくり
- 「美しい里山」  
裏山やトレッキングコース周辺へのもみじやイチヨウの植栽による里づくり
- 「オープンガーデン」  
オープンガーデンの普及などによる「美しいお庭」づくり など



## (3) 交流とにぎわいを楽しむイベント

- 新たなにぎわいと交流の場を創るとともに長年続いてきた恒例行事の充実を図るなど地域内のにぎわいと交流を楽しむイベントの開催をめざします。

### 高駅前周辺の空き店舗や広場の活用

- 「いろいろ青空市（仮称）」  
高の農産物・加工品・特産品の販売によるにぎわいづくり
- 「青春カフェ（仮称）」  
若い世代のアイデアを地域がサポートし若い世代や子どもたちがつくる  
地区外キッチンカーやマルシェなどの協力による交流とにぎわいのイベントづくり
- 「たからちゃん交流スペース（仮称）」  
誰でも利用したい時に活用できる  
空き店舗や駅舎を活用した音楽ライブ・ギャラリー・一日食堂・おはなし会  
ベーカリーカフェなどの発表と交流の場づくり

## 恒例行事による交流と親睦機会の充実

- ふるさと祭りの充実  
多世代の交流と活躍の場づくり
- 盆踊り大会  
伝統芸能の継承と懐かしい人たちが集う親睦と楽しみの場づくり
- 要害山・狼煙プロジェクト  
地域の歴史に学び、地域と子育て世代や子どもたちの交流の場づくり



## 若者の活躍と交流イベントの充実

- ・若者の活躍の場と地域参加の機会を増し楽しみを感じるイベントの開催をめざします。

(開催イベントのイメージ)

- フリーマーケット・ハロウィン・音楽・ダンス など



## 世代間・地域交流の促進

- ・多世代の交流を通じて高齢者の楽しみ創出、若者の地域関心の醸成など、世代を超えた微笑ましい関係づくりを促進します。

(取り組みイメージ)

- 地域と小学校・保育所・放課後子供教室との連携と交流
- 子どもたちや子育て世代と酪農畜産・農業団体・福祉施設・養鶏場・観光施設等との交流促進

## 関係人口（地区外人材）との交流の促進

- ・地域外の人たちとつながることで「にぎわい」と「楽しみ」の創出をめざします。

- 県立大学生、高出身者、地域支援者等との関係づくりと交流
- 高の情報発信等によるU I ターンの促進
- 歴史文化や農林業、畜産業等の関係による他の町との友好交流  
(和牛の放牧 - 佐木島、伊達金三郎 - 大森石見银山)

## ◆ 生きがいのあるまち

### (1) 趣味や特技を持つ人からの学びと発表の場づくり

- 達人に学ぶ場・発表の場の創出
- 高齢者の知恵や技術を活用した体験イベントの創出

### (2) 特産品・加工品づくり

- 特産品・加工品の販売

### (3) サークルや同好会活動の充実

- サークルや同好会活動による生きがいづくり
- ボランティア活動による生きがいづくり

### (4) 生涯学習の充実

- 地域に学ぶ講座の開催
- 新しい知識を得る講座の開催

### (1) 趣味や特技を持つ人からの学びと発表の場づくり

- 高地区には多様な趣味や特技を持つ人がおられます。
- 「生きがい」は豊かな人生を創造します。こうした人たちの技・知識に学ぶ場・発表の場をつくり、教える人・学ぶ人双方の生きがいづくりの促進をめざします。

#### 達人に学ぶ場・発表の場の創出

- ・ 達人の知識と技に学ぶ機会や成果を発表する場を創出します。
- 「野菜づくり」「そば打ち」「なば採り」「鮎釣り」「農産物加工品」「鯉の飼育」「養蜂」「庭・盆栽」「キノコづくり」「山仕事」「狩猟」「高の自然や歴史文化」等の達人による勉強会・フィールドワークの開催
- 多様な趣味や技の成果を披露するイベント（ふるさと祭り等）の開催 など



## 高齢者の知恵や技術を活用した体験イベントの創出

- ・ 地域の高齢者が持つ知識と技を活かし、高地区の暮らしを体験するイベントを開催します。
- しめ縄・門松づくり・味噌づくり・漬け物づくり・梅干しづくり・鮎釣り教室・農業学習ワークショップ など

## (2) 特産品・加工品づくり

○ 地域資源を活用した特産品づくりを促進するとともに披露する場・売場をつくり、自身が生産した特産品・加工品を購入してもらうことによる充足感や達成感により地域の活性化と生きがいづくりの醸成をめざします。

### 特産品・加工品の販売

- ・ 高地区の特産品・加工品の充実を図るとともに、販売機会を創出します。
- いろいろ青空市場の定期開催
- ふるさと祭りでの特産品・加工品販売の拡充 など

## (3) サークルや同好会活動の充実

○ 同じ趣味等を持つ人たちや世代間の交流を促進し、ボランティア活動の育成や地域の学びの場や発表の場などの充実を図ることで生きがいの促進をめざします。

### サークルや同好会活動による生きがいづくり

- ・ 高地区内で取り込まれる趣味や学習等のサークルや同好会活動を促進し、住民のみなさんの生きがいづくりを促進します。
- 「振興区だより」による各種サークル・同好会の活動紹介
- 新たな同好会活動の育成と教室の開催 など

### ボランティア活動による生きがいづくり

- ・ 高地区内でのボランティア活動を支援し、住民のみなさんの生きがいづくりを促進します。
- 地域ボランティアの勉強会
- ボランティア団体の交流と育成 など



## (4) 生涯学習の充実

○幸せ感じる“高”暮らしを進めるため、特に、地域に学ぶ講座や新しい知識を得る子ども・若者向けの講座の開催をめざします。

### 地域に学ぶ講座の開催

・住民の皆さんが高地区に誇りを持って暮らせるよう、高地区の歴史や文化、自然、地域産業などを知るための勉強会や体験イベント、フィールドワーク、見学会等を開催します。

- 地域の史跡・古墳等の歴史文化や祭りなどの伝統芸能等を学ぶ会の開催
- 地域の伝統文化や技術・技を継承する勉強会の開催
- 地域の産業や農林業・畜産業など地域資源を学ぶフィールドワークの開催
- ホタル観賞会、クワガタ・カブトムシ等昆虫採集 など

### 新しい知識を得る講座の開催

・住民の皆さんが高地区で豊かで充実した暮らしがおくれるよう、新しい知識を得ることのできる講座を開催します。

(開催講座のイメージ)

- スマホ・インスタ教室・はじめての Youtuber 教室・上手く撮るカメラ教室・親子ドローン教室・プログラミング・パソコン教室・音楽(コーラス・ウクレレ・ギター・琴・横笛・ボイストレーニング)教室・ヒップホップダンス教室・イラスト教室・宇宙・自然科学教室・美味しいコーヒーの淹れ方教室 など



## ◆ 安心のあるまち

人と人との穏やかなつながりを大切にし、ともに考え、支え合い、助け合う仕組みをつくることで困りごとの解消や孤立を防ぐなど安心を感じる地域づくりをめざします。

### (1) 困りごとの支援

- 困りごとの支援によるお互いさまの安心づくり

### (2) 防災意識の啓発

- 命を守る防災意識の啓発事業の推進

### (3) 地域不安への対応

- イノシシ等有害鳥獣対策
- 地域農業組織の連携
- 空き家の活用
- 地域交通の確保

### (4) 高齢者や子育て世代の社会的孤立への対応

- 各世代が集う場づくり
- 穏やかなつながりづくり

### (5) 自治振興区の充実と活性化

- 計画推進の取り組み
- やってみたいことを誰でも気軽に挑戦できる新たな仕組みづくり
- 情報発信の充実
- 自治振興区組織の充実



## (1) 困りごとの支援

○人口減少や少子高齢化が進む地域にあって、高齢者や子育て世代の社会的孤立が懸念されます。単独世帯が増えていく中で、住民同士が穏やかにつながり、孤立や困りごとのない安心して暮らせる支え合いの仕組みづくりをめざします。

### 困りごとの支援によるお互いさまの安心づくり

・“お互いさま”と思える関係性を構築し、住民同士の助け合いによる安心して暮らせるまちづくりを推進します。

- ありがとうの会の活動充実
- 住民参画による草刈りなどの困りごと支援事業の強化
- 高齢者・子育て世代の福祉サービス相談等の情報提供
- 講座等開催によるボランティアの育成と活動促進
- 高地区社会福祉協議会やみんなの福祉連携会議との協働による取り組み
- 民生委員児童委員やひとり暮らし高齢者等巡回相談員との協力関係づくり
- 地域の社会福祉法人や小学校と連携
- 行政や庄原市社会福祉協議会の制度活用と協力関係づくり など



## (2) 防災意識の啓発

○自然災害の脅威が増すなか、災害の危険箇所（河川氾濫・土砂地滑り等）も多くあることから防災意識の啓発による不安の解消をめざします。

### 命を守る防災意識の啓発事業の推進

- ・各自、日頃から万が一の避難先を決めておくなど防災意識の啓発に努めます。
  - 危険箇所の把握（危険箇所マップの共有）
  - 安全な避難路の確認
  - 各自、安全な避難場所や要支援者等あらかじめ決めておく「各自避難計画」づくりの徹底
  - 防災勉強会の開催 など



### (3) 地域不安への対応

○人口減少や少子高齢化の影響が地域の維持保全や担い手不在など地域の暮らしに不安の影を落としています。

○地域のつながりを密にして不安の解消をめざします。

#### イノシシ等有害鳥獣対策

・拡大する有害鳥獣による被害軽減に向けた取り組みを促進します。

- 他の先進地事例を参考とする勉強会の開催
- 有害鳥獣駆除班への相談協力依頼など連携
- 美しい里山づくりの啓発 など



#### 地域農業組織の連携

・地域の基幹産業である農業の持続性を高める取り組みを促進します。

- 農業団体等の情報共有と連携協力を目的とする「みんなの農業連携会議（仮称）」の設立促進
- 草刈機・チェーンソー・農業機械操作等の使い方講習会の開催
- 草刈り作業等を請負うプロ集団の育成 など

#### 空き家の活用

・空き家の調査を行い情報発信による活用をめざします。

- 空き家の活用調査
- 空き家バンクへの登録
- 情報提供による定住促進（活用促進）
- 空き家を活用したカフェ・サロンの開催
- 専門家への空き家売買や修繕斡旋等の仕組みづくり など



## 地域交通の確保

- ・住民が安心して暮らせるよう、生活交通の確保に向けた取り組みを推進します。
  - 市民タクシー制度の活用
  - 庄原市への市民タクシー制度の充実要望
  - 関係機関への地元高校生等の通学手段の確保と利便性向上等の要望
  - 買い物支援等の検討 など



## (4) 高齢者や子育て世代の社会的孤立への対応

○住民同士の穏やかな交流による孤立や困りごとのない安心して暮らせる支え合いのまちづくりをめざします。

### 各世代が集う場づくり

- ・同世代の住民があつまり、交流することで住民間の絆づくりを促進します。
  - 子育て世代が集う場づくり  
(開催イベントのイメージ)  
しゃべり場・不用品バザー・おはなし会・ランチを楽しむ会・子育てサークル勉強会 など
  - 高齢者が集う場づくり  
(開催イベントのイメージ)  
地域サロン・地域食堂・グラウンドゴルフ・カラオケ・将棋・囲碁 など

### 穏やかなつながりづくり

- ・地域内で生活する中で、同じ問題意識を持った住民有志が自由参加で活動できる様々な活動を支援します。  
(活動のイメージ)
  - 花を贈る活動・ふれあい給食・年末慰問・地域での見守り活動 など



## (5) 自治振興区の充実と活性化

- 「幸せ感じる“高”暮らし」をめざし、住民の皆さんの主体的な活動を促進する仕組みをつくるとともに、自治振興区の情報発信の強化や計画推進体制の充実をめざします。
- 人口減少や高齢化に伴う担い手の減少が進むと予測されることから、自治会等の役員の確保に向けた役員のあり方や制度の見直しを検討するとともに、特定の役員や団体組織に過重な負担がかかることがないように、イベント運営等を円滑に進める実施体制の充実をめざします。

### 計画推進の取り組み

- ・本計画の着実な実現に向けて、取り組みを推進する関係団体等と協働するとともに、計画の推進を図る担当者を自治振興区に配置します。
  - 地域マネージャーの配置（計画推進担当・空き家調査担当など）
  - 関係団体・趣味の会・同好会・グループ等との協働による事業推進
  - 学識経験者や専門家等の人材活用
  - 各種まちづくり補助金の活用 など

### やってみたいことを誰でも気軽に挑戦できる新たな仕組みづくり

- ・住民の皆さんが、自らやってみたいと思える地域活動に挑戦できるよう、取り組み支援の充実を図ります。
  - 「みんなのやりたいこと応援成金（仮称）」の創設
- ・事業の規模や内容、実施団体等を勘案し各種補助金の活用をサポートします。
  - 自治振興区活動促進補助金（庄原市）
  - 小さな地域づくり活動補助金（庄原市社会福祉協議会） など

高自治振興センター



## 情報発信の充実

- ・地域内外に向けた情報発信を充実することで、高地区住民間の情報共有を図るとともに、高地区の認知度を高め、交流の促進につなげます。

- 自治振興区だよりの充実
- マスコミ等の積極的利用
- インスタグラムを活用した情報発信
- ホームページのリニューアルによる情報発信と情報共有
- LINE 等を使った地域内情報受発信の活発化
- 高キャラクター「たからちゃん」の活用
- 地区外の高関係者等への情報提供の検討 など



## 自治振興区組織の充実

- ・自治振興区の活動を充実させるとともに、住民の皆さんの独自の活動が数多く創出されるよう、柔軟な組織体制と仕組みづくりを図ります。

- 実行委員会方式による事業推進
- 専門部と関係の団体・同好会・グループ等の連携強化
- 自治振興区の充実をめざす組織や役員のあり方等の検討
- 庄原市との連携 など



高地区キャラクター  
たからちゃん



# 資料編

## 1. 地域住民アンケート調査結果

次のとおり実施したアンケート調査の結果です。

- 目 的 住民の皆さんから意見を聴取し計画策定に活かす
- 対 象 者 高地区に在住する高校生以上の方
- 実施期間 令和4年6月28日（火）～ 令和4年7月29日（金）
- 回答者数 791名
- 回 答 率 79.1%

## 2. 地域住民アンケート調査票

実施したアンケートの調査票（内容）です。

## 3. 計画策定ワークショップのまとめ

次のとおり直接住民の方々から意見をお聞きしたワークショップのまとめです。

- 目 的 直接住民の方から意見を聞き計画策定に活かす
- 対 象 者 高地区住民 15名
- 実施回数 3回
- テ ー マ 第1回 地域課題（困りごと）について  
第2回 高地区の魅力・強み・活かし方を考える  
第3回 まちづくりの将来像とキャッチコピー  
具現化するプロジェクトのイメージ

そ の 他 詳しくは別紙まとめのとおりです。

## 4. 計画策定委員会の設置要綱および策定参画者名簿

# 1. 地域住民アンケート調査結果

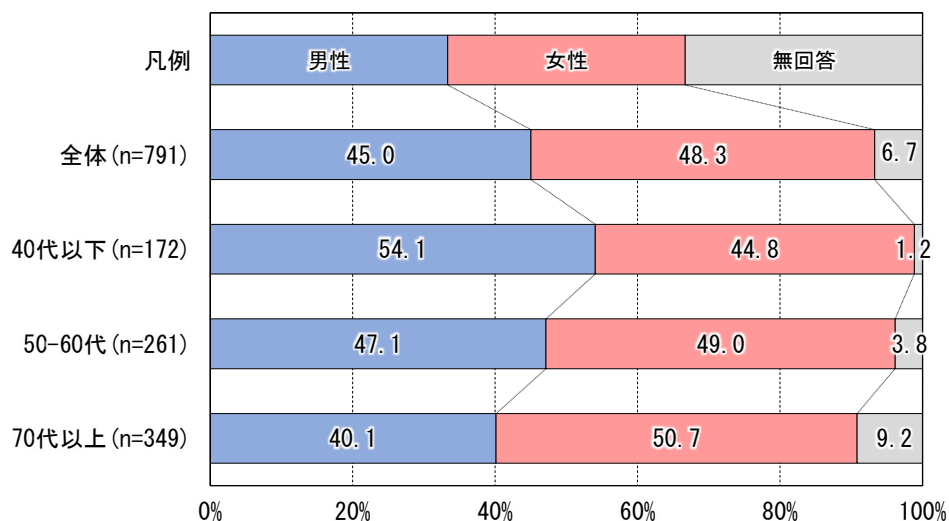
## I 回答者属性

### (1) 性別

○性別は、「男性」が45.0%、「女性」が48.3%と、女性がやや多くなっています。

○年齢別にみると、40代以下は「男性」のほうが多く、50-60代、70代以上は「女性」のほうが多くなっています。

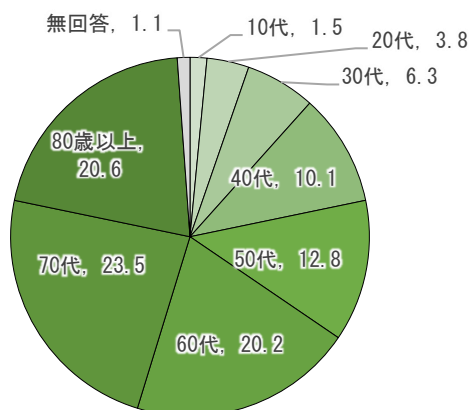
図6 回答者の性別



### (2) 年齢

○年齢は、「70代」が23.5%と最も多く、次いで「80歳以上」が20.6%、「60代」が20.2%となっています。

図7 回答者の年齢



(n=791)

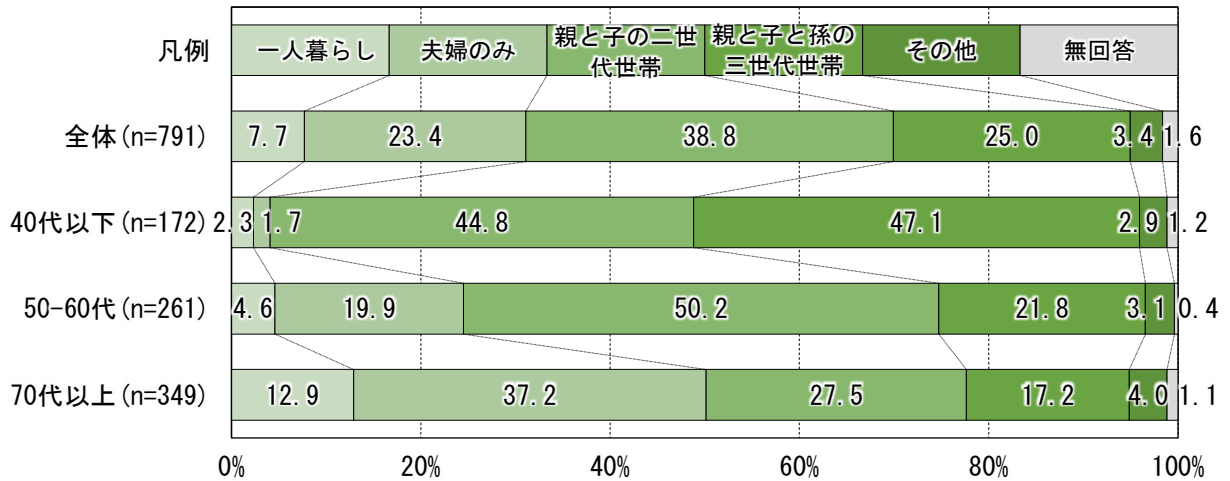
### (3) 家族構成

○家族構成は、「親と子の二世帯世帯」が38.8%と最も多くなっており、次いで「親と子と孫の三世帯世帯」、「夫婦のみ」の順となっています。

○年齢別にみると、40代以下では9割以上が「親と子の二世帯世帯」または「親と子と孫の三世帯世帯」となっています。

○一方、「一人暮らし」、「夫婦のみ」は年齢層が上がるにつれて、増えています。

図8 回答者の家族構成

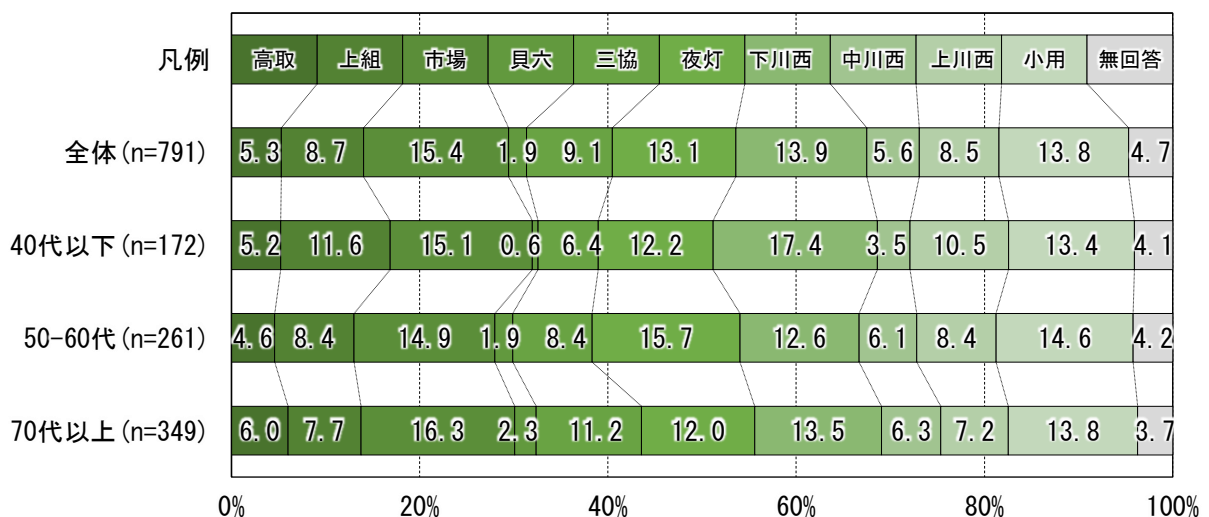


### (4) 地域 (自治会名)

○地域 (自治会名) は、「市場」が15.4%と最も多くなっており、次いで「下川西」が13.9%、「小用」が13.8%となっています。

○年齢別にみると、40代以下では「下川西」、50-60代では「夜灯」、70代以上では「市場」が最も多くなっています。

図9 回答者の地域 (自治会名)



## Ⅱ 集計結果の概要

### 1. 高自治振興区の生活環境について

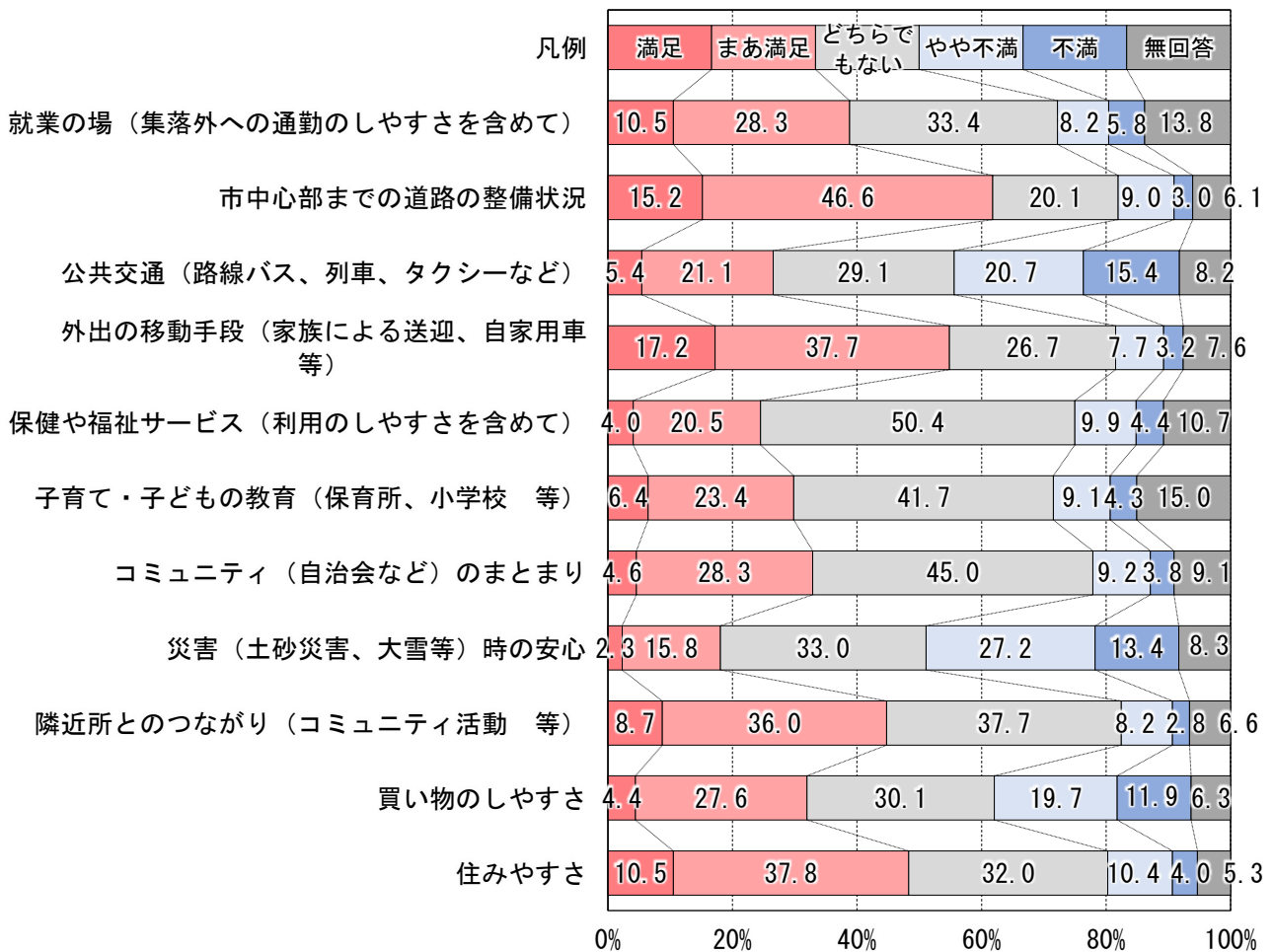
問 1

あなたがお住まいの地域（自治会・班）や高自治振興区の環境について  
どのようにお考えですか。

○地域の環境を様々な面から評価してもらったところ、『満足している』（「満足」と「まあ満足」の合計）は、「市中心部までの道路の整備状況」が6割を超え最も多く、次いで「外出の移動手段（家族による送迎、自家用車 等）」、「住みやすさ」の順となっています。

○一方、『満足していない』（「やや不満」と「不満」の合計）は、「災害（土砂災害、大雪等）時の安心」が40.6%で最も多く、次いで「公共交通（路線バス、列車、タクシーなど）」、「買い物のしやすさ」の順となっています。

図 10 地域環境の満足度



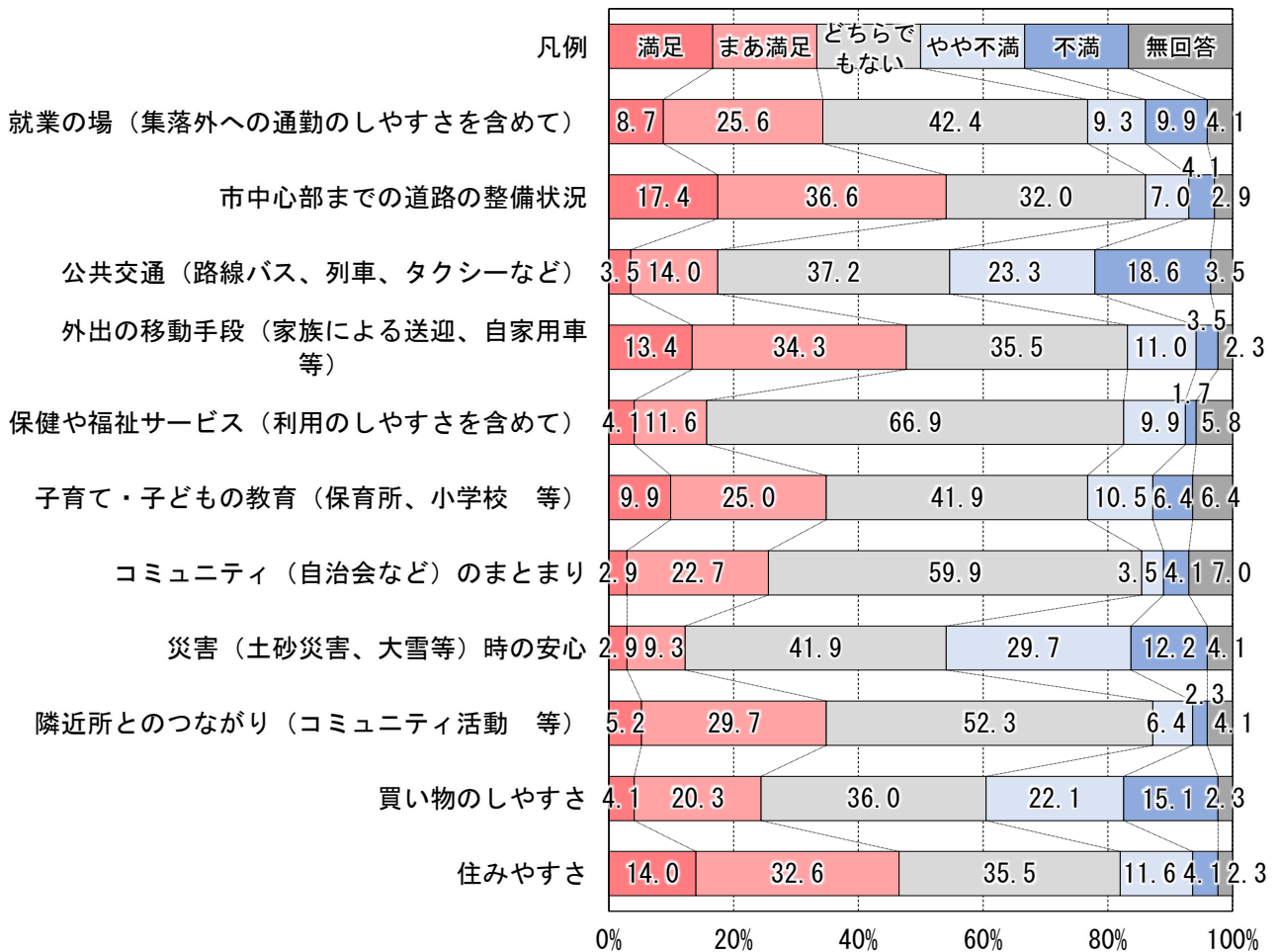
(n=791)

(40代以下集計)

○40代以下でみると、『満足している』（「満足」と「まあ満足」の合計）は、「市中心部までの道路の整備状況」が5割を超え最も多く、次いで「外出の移動手段（家族による送迎、自家用車等）」、「住みやすさ」の順となっています。

○一方、『満足していない』（「やや不満」と「不満」の合計）は、「公共交通（路線バス、列車、タクシーなど）」と「災害（土砂災害、大雪等）時の安心」がともに41.9%で最も多く、次いで「買い物のしやすさ」、「就業の場（集落外への通勤のしやすさを含めて）」の順となっています。

図11 地域環境の満足度（40代以下）



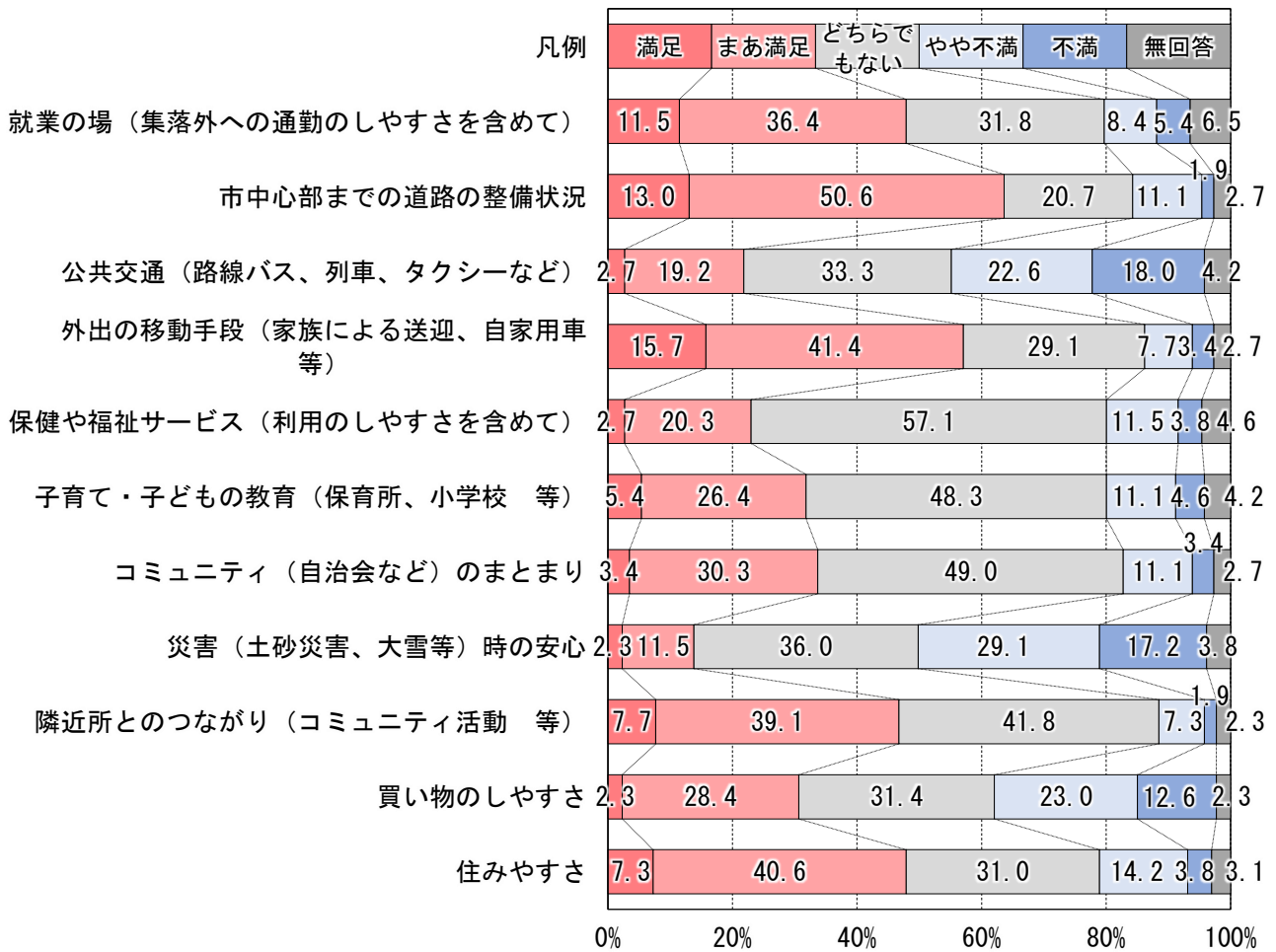
(n=172)

(50-60 代集計)

○50-60 代でみると、『満足している』（「満足」と「まあ満足」の合計）は、「市中心部までの道路の整備状況」が6割を超え最も多く、次いで「外出の移動手段（家族による送迎、自家用車 等）」、「就業の場（集落外への通勤のしやすさを含めて）」、「住みやすさ」の順となっています。

○一方、『満足していない』（「やや不満」と「不満」の合計）は、「災害（土砂災害、大雪等）時の安心」が46.4%で最も多く、次いで「公共交通（路線バス、列車、タクシーなど）」、「買い物のしやすさ」の順となっています。

図 12 地域環境の満足度 (50-60 代)



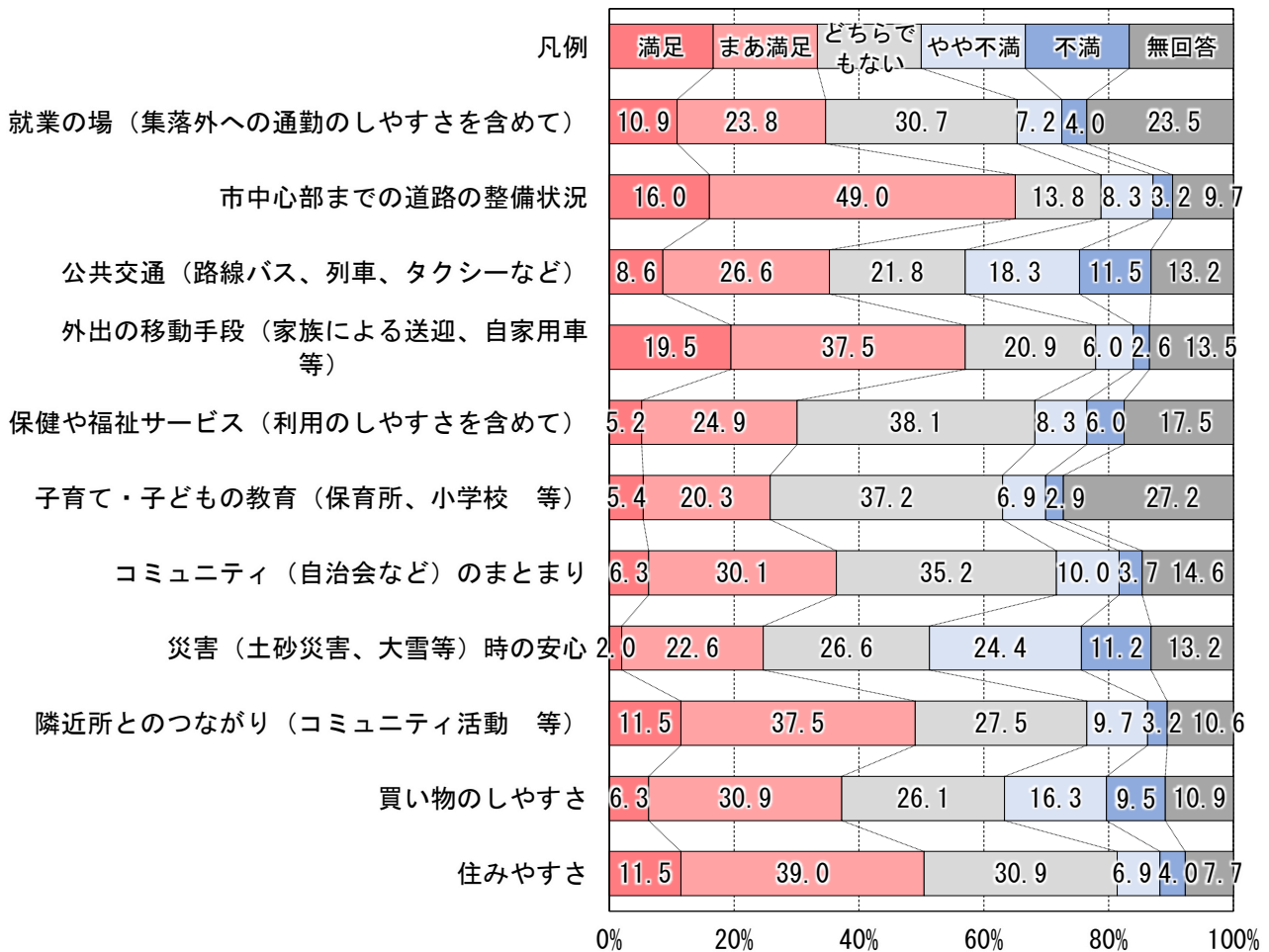
(n=261)

(70代以上集計)

○70代以上でみると、『満足している』（「満足」と「まあ満足」の合計）は、「市中心部までの道路の整備状況」が6割を超え最も多く、次いで「外出の移動手段（家族による送迎、自家用車 等）」、「住みやすさ」の順となっています。

○一方、『満足していない』（「やや不満」と「不満」の合計）は、「災害（土砂災害、大雪等）時の安心」が35.5%で最も多く、次いで「公共交通（路線バス、列車、タクシーなど）」、「買い物のしやすさ」の順となっています。

図13 地域環境の満足度（70代以上）

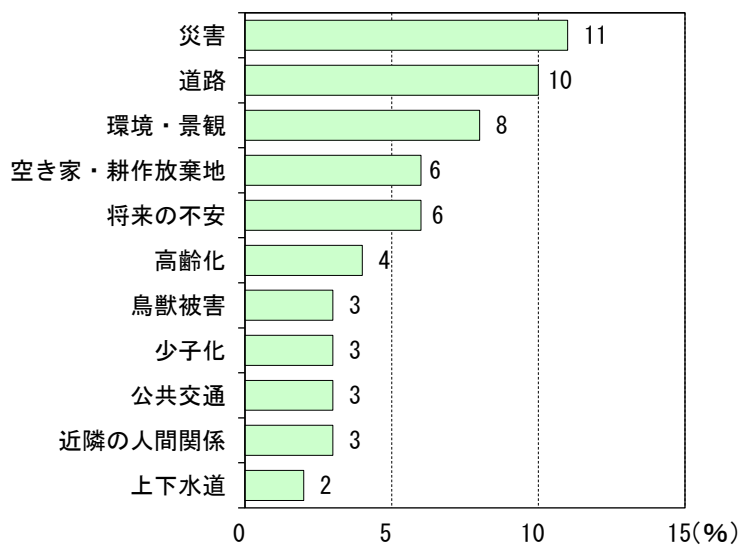


(n=349)

(その他)

○その他としては、「災害」に関する記述が最も多く、次いで「道路」、「環境・景観」の順となっています。

図 14 地域環境の満足度（その他）



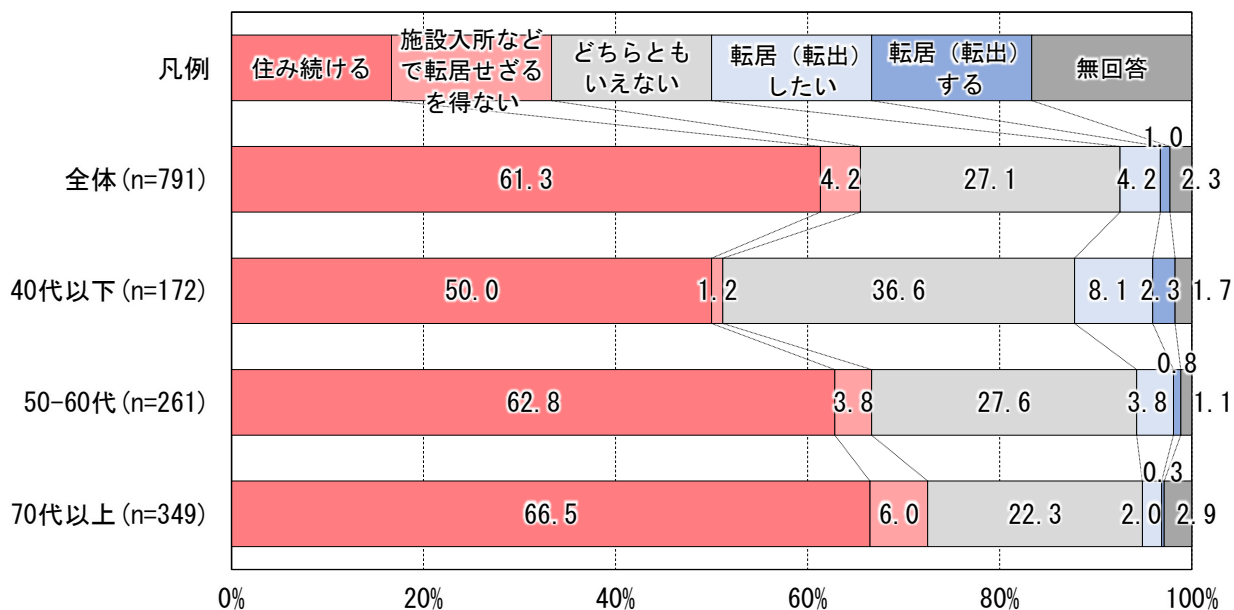


問2 現在お住まいの地域に、将来も住み続けますか。

○今後の居留意向をみると、6割を超える人が「住み続ける」と回答しており、次に「どちらともいえない」と回答した人が27.1%と多くなっています。

○年齢別にみると、年齢層が上がるにつれて、「住み続ける」と回答する人の割合が多くなっています。

図15 今後の居留意向

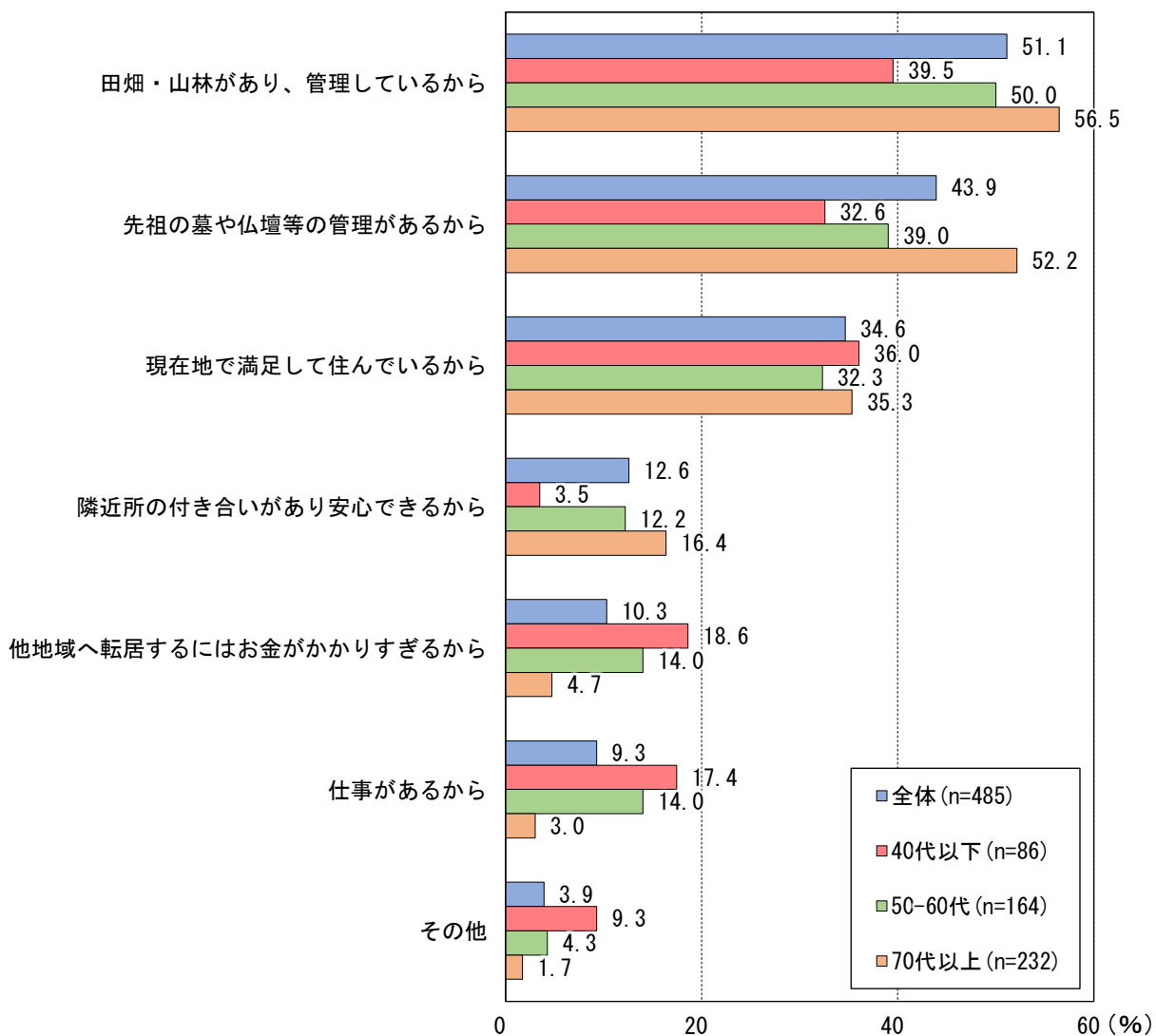


問3

問2で「住み続ける」と答えた方にお聞きします。  
その理由は何ですか。

- 「住み続ける」と回答した人の理由としては、「田畑・山林があり、管理しているから」が51.1%で最も多く、次いで「先祖の墓や仏壇等の管理があるから」が43.9%、「現在地で満足して住んでいるから」が34.6%となっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「田畑・山林があり、管理しているから」が最も多く、次いで40代以下は「現在地で満足して住んでいるから」が多く、50-60代、70代以上は「先祖の墓や仏壇等の管理があるから」が多くなっています。

図16 「住み続ける」理由



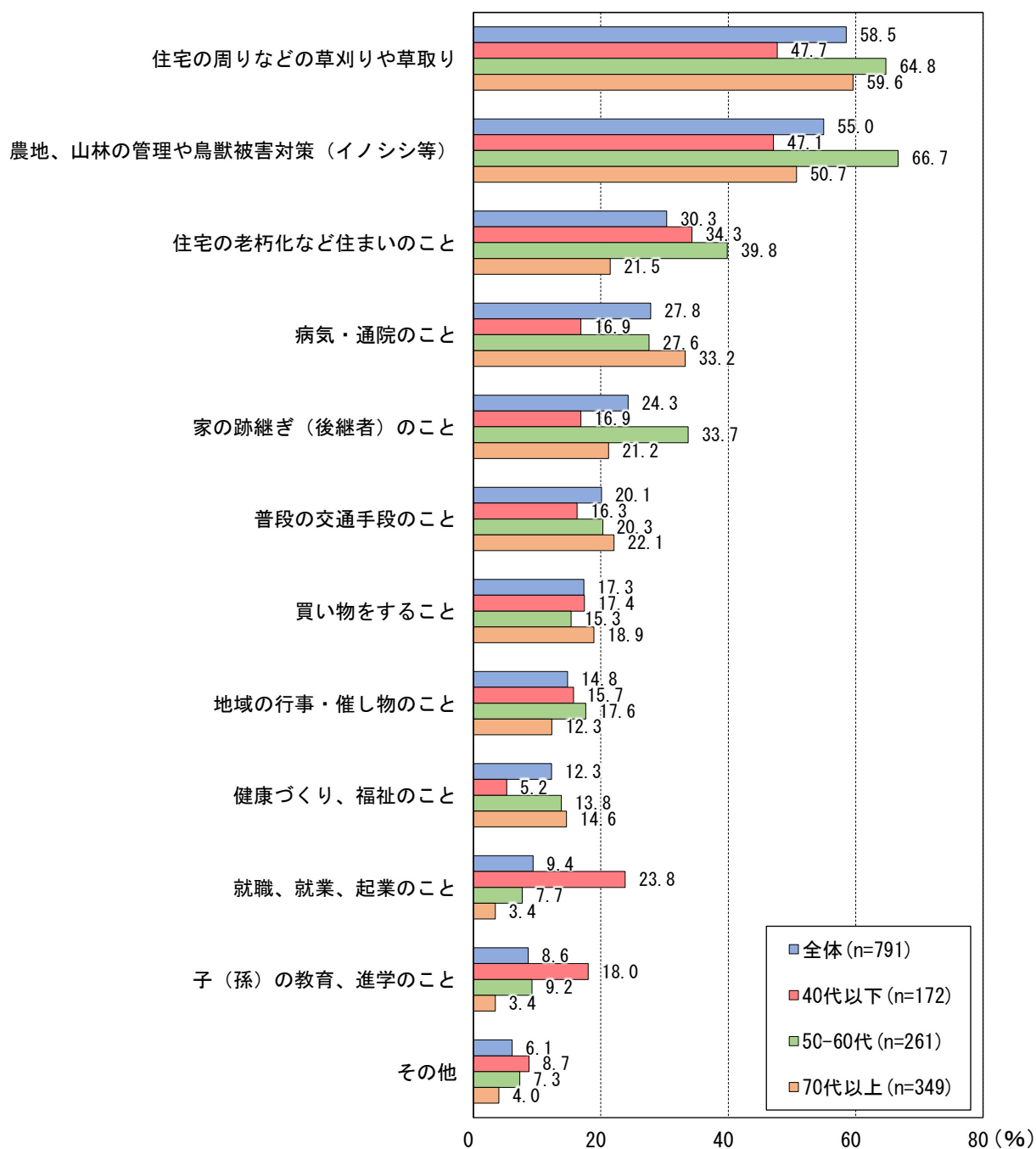
問4 生活していく上で困っているもの、不安だと考えていることは何ですか。

○生活していく上で困っているもの、不安だと考えていることとしては、「住宅の周りなどの草刈りや草取り」が58.5%、「農地、山林の管理や鳥獣被害対策（イノシシ等）」が55.0%と特に多くなっています。

○年齢別にみると、50-60代では「農地、山林の管理や鳥獣被害対策（イノシシ等）」が66.7%と最も多く、他の年代と比べても多くなっています。

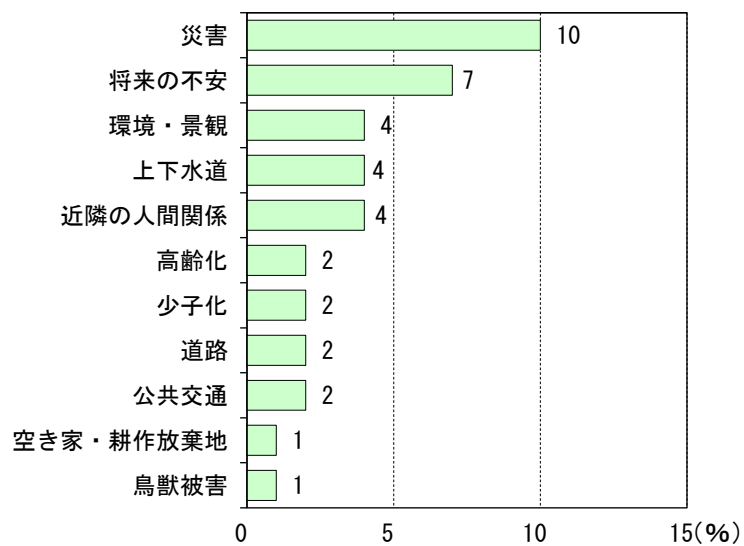
○また、40代以下では「就職、就業、起業のこと」、70代以上では「病気・通院のこと」が他の年代に比べてやや多くなっています。

図17 困っているもの、不安だと考えていること



○その他としては、「災害」に関する記述が最も多く、次いで「将来の不安」、「環境・景観」、「上下水道」、「近隣の人間関係」の順となっています。

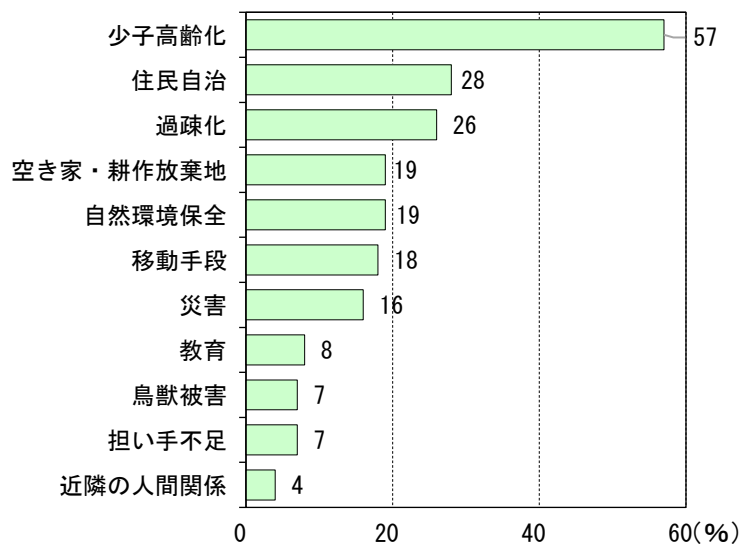
図 18 困っているもの、不安だと考えていること（その他）



問5 高地区の課題と感ずるところは何ですか。

○高地区の課題と感ずるところを聞くと、「少子高齢化」に関する記述が最も多く、次いで「住民自治」、「過疎化」の順となっています。

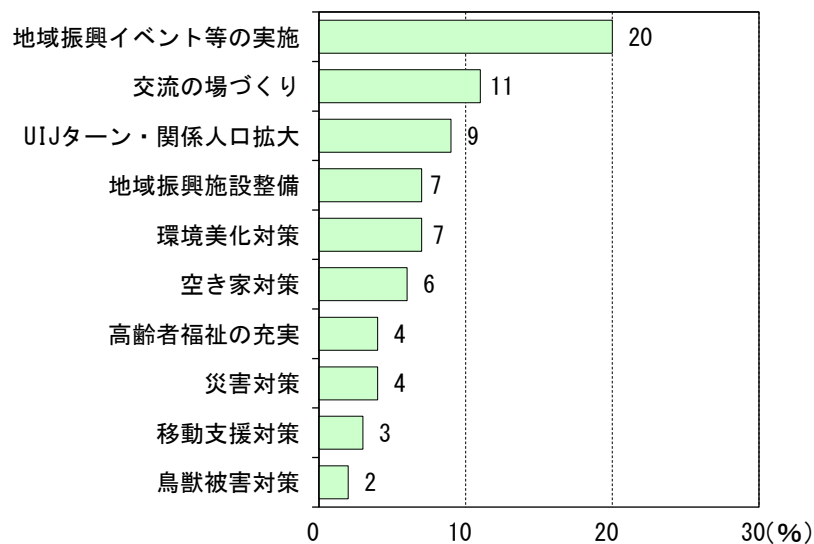
図19 高地区の課題と感ずるところ



問6 自分たちの力で、課題を解決できるアイデアがあれば教えてください。

○自分たちの力で、課題を解決できるアイデアを聞くと、「地域振興イベント等の実施」に関する記述が最も多く、次いで「交流の場づくり」、「UIJターン・関係人口拡大」の順となっています。

図20 自分たちの力で、課題を解決できるアイデア



## 2. これまでの自治振興区、自治会の取り組みについて

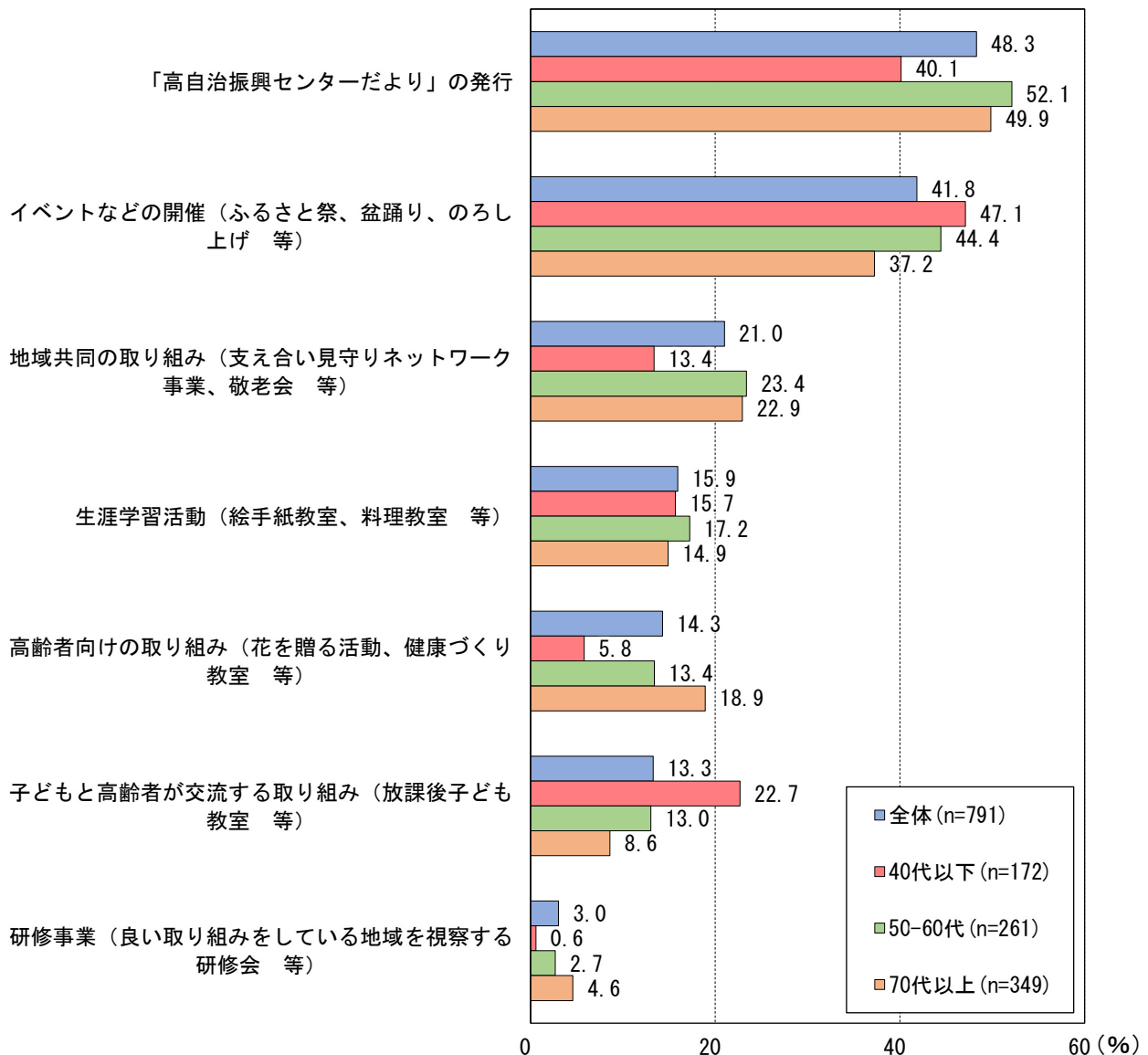
問7

- ① よく知っている又は参加しているものに、◎を付けてください。  
 ② 聞いたことがあるものに、○を付けてください。

○自治振興区、自治会の取り組みについて、よく知っている又は参加しているものとしては、『高自治振興センターだより』の発行が48.3%と最も多く、次いで「イベントなどの開催（ふるさと祭、盆踊り、のろし上げ 等）」が41.8%、「地域共同の取り組み（支え合い見守りネットワーク事業、敬老会 等）」が21.0%となっています。

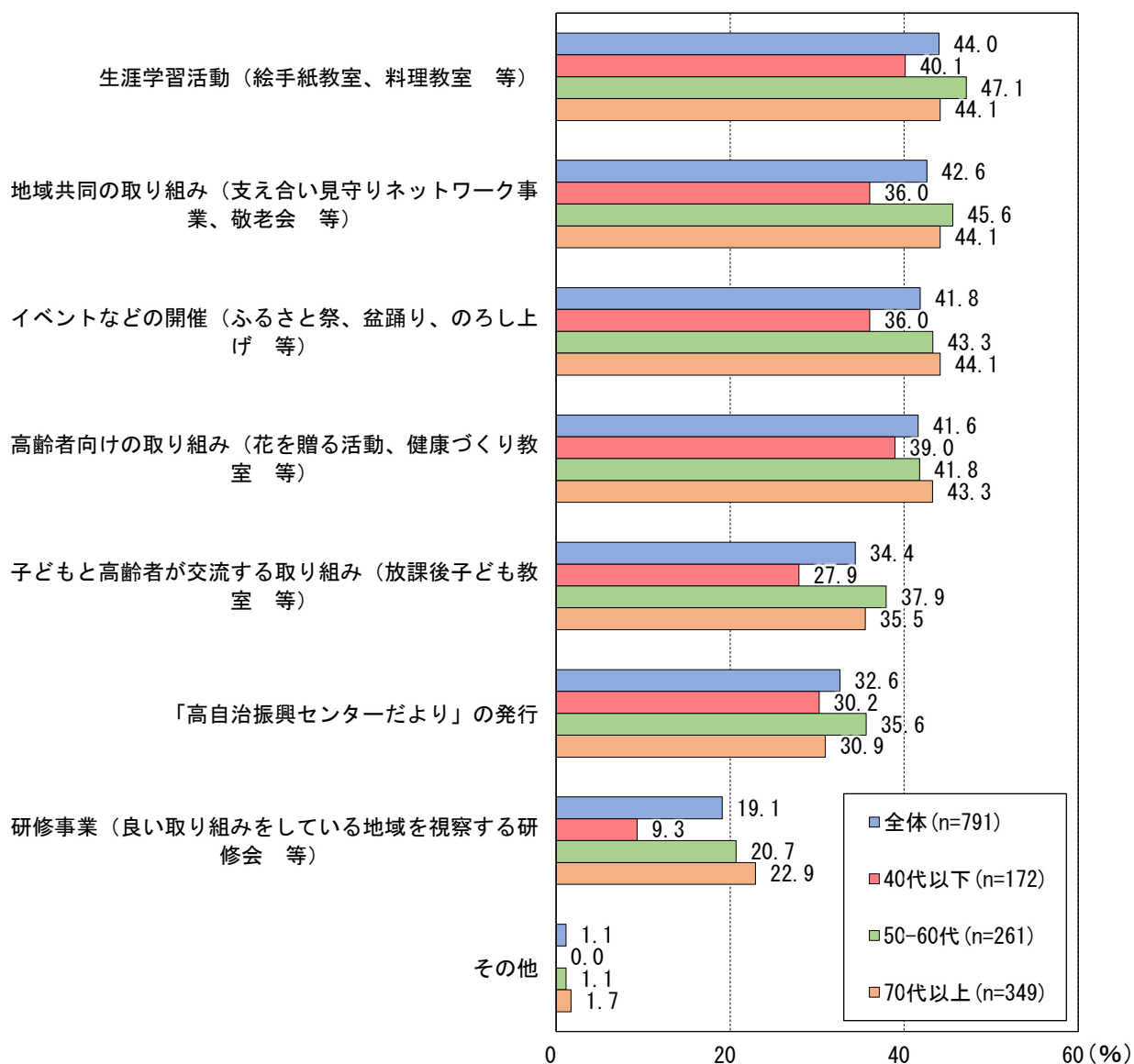
○年齢別にみると、40代以下では「イベントなどの開催（ふるさと祭、盆踊り、のろし上げ 等）」が47.1%と最も多くなっており、また、「子どもと高齢者が交流する取り組み（放課後子ども教室 等）」が他の年代に比べて多くなっています。

図21 ①よく知っている又は参加しているもの



- 自治振興区、自治会の取り組みについて、聞いたことがあるものとしては、「生涯学習活動（絵手紙教室、料理教室 等）」が44.0%と最も多く、次いで「地域共同の取り組み（支え合い見守りネットワーク事業、敬老会 等）」が42.6%、「イベントなどの開催（ふるさと祭、盆踊り、のろし上げ 等）」が41.8%となっています。
- 「生涯学習活動（絵手紙教室、料理教室 等）」、「地域共同の取り組み（支え合い見守りネットワーク事業、敬老会 等）」、「イベントなどの開催（ふるさと祭、盆踊り、のろし上げ 等）」、「高齢者向けの取り組み（花を贈る活動、健康づくり教室 等）」はどれも4割を超える人が聞いたことがあると回答しています。
- 年齢別にみると、70代以上では「高齢者向けの取り組み（花を贈る活動、健康づくり教室 等）」が最も多くなっています。

図 22 ②聞いたことがあるもの





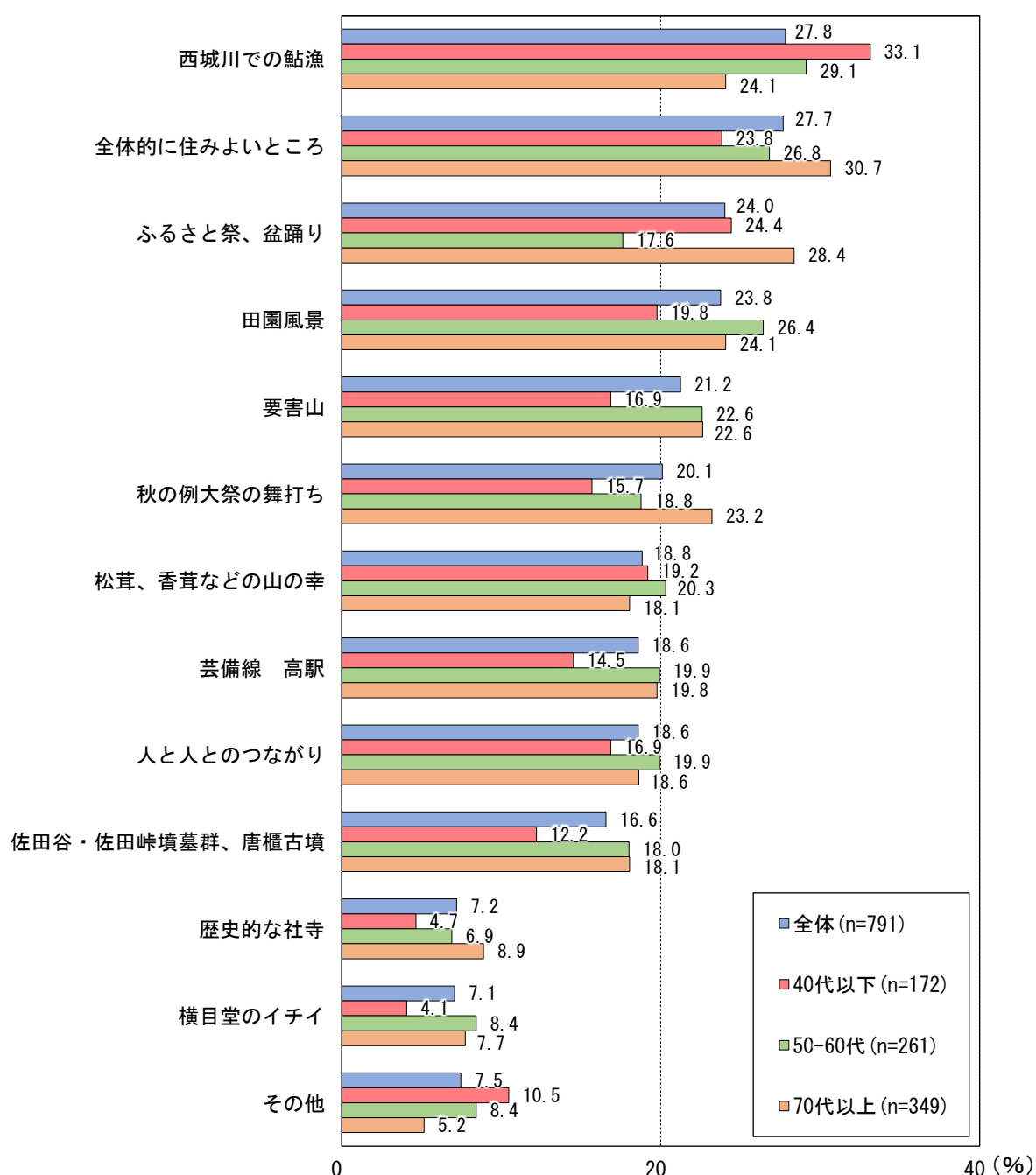
### 3. 高地区の好きなところ、自慢できるところについて

問8 高地区の好きなところ、自慢できるところはどのようなものでしょう。

○高地区の好きなところ、自慢できるところとしては、「西城川での鮎漁」が27.8%、「全体的に住みよいところ」が27.7%と多くなっており、次いで「ふるさと祭、盆踊り」、「田園風景」の順となっています。

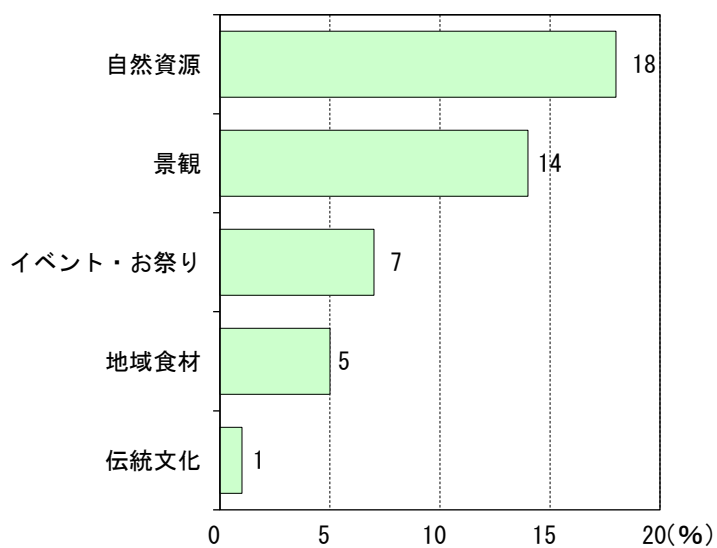
○年齢別にみると、70代以上では「全体的に住みよいところ」が最も多くなっており、また、「ふるさと祭、盆踊り」、「秋の例大祭の舞打ち」が他の年代に比べて多くなっています。

図23 好きなところ、自慢できるところ



○その他としては、「自然資源」に関する記述が最も多く、次いで「景観」、「イベント・お祭り」の順となっています。

図 24 好きなところ、自慢できるところ（その他）

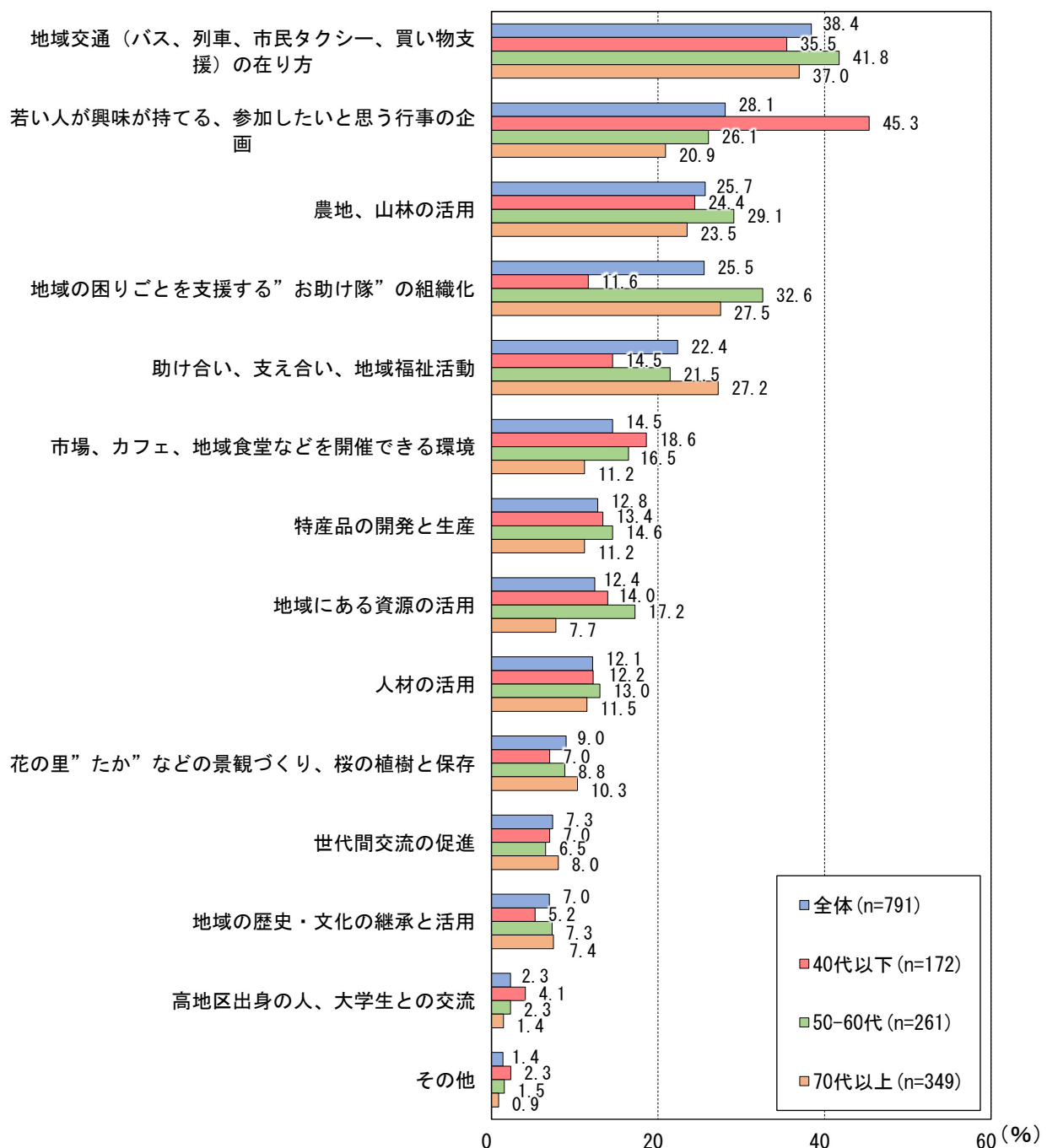


## 4. 高自治振興区の今後の取り組みについて

問9 高自治振興区は、今後どのような活動に取り組んでいくべきでしょうか。

- 高自治振興区が今後取り組んでいくべき活動としては、「地域交通（バス、列車、市民タクシー、買い物支援）の在り方」が38.4%と最も多く、次いで「若い人が興味を持てる、参加したいと思う行事の企画」が28.1%、「農地、山林の活用」が25.7%となっています。
- 年齢別にみると、40代以下では「若い人が興味を持てる、参加したいと思う行事の企画」が最も多く、5割弱と突出して多くなっています。

図25 今後取り組んでいくべき活動

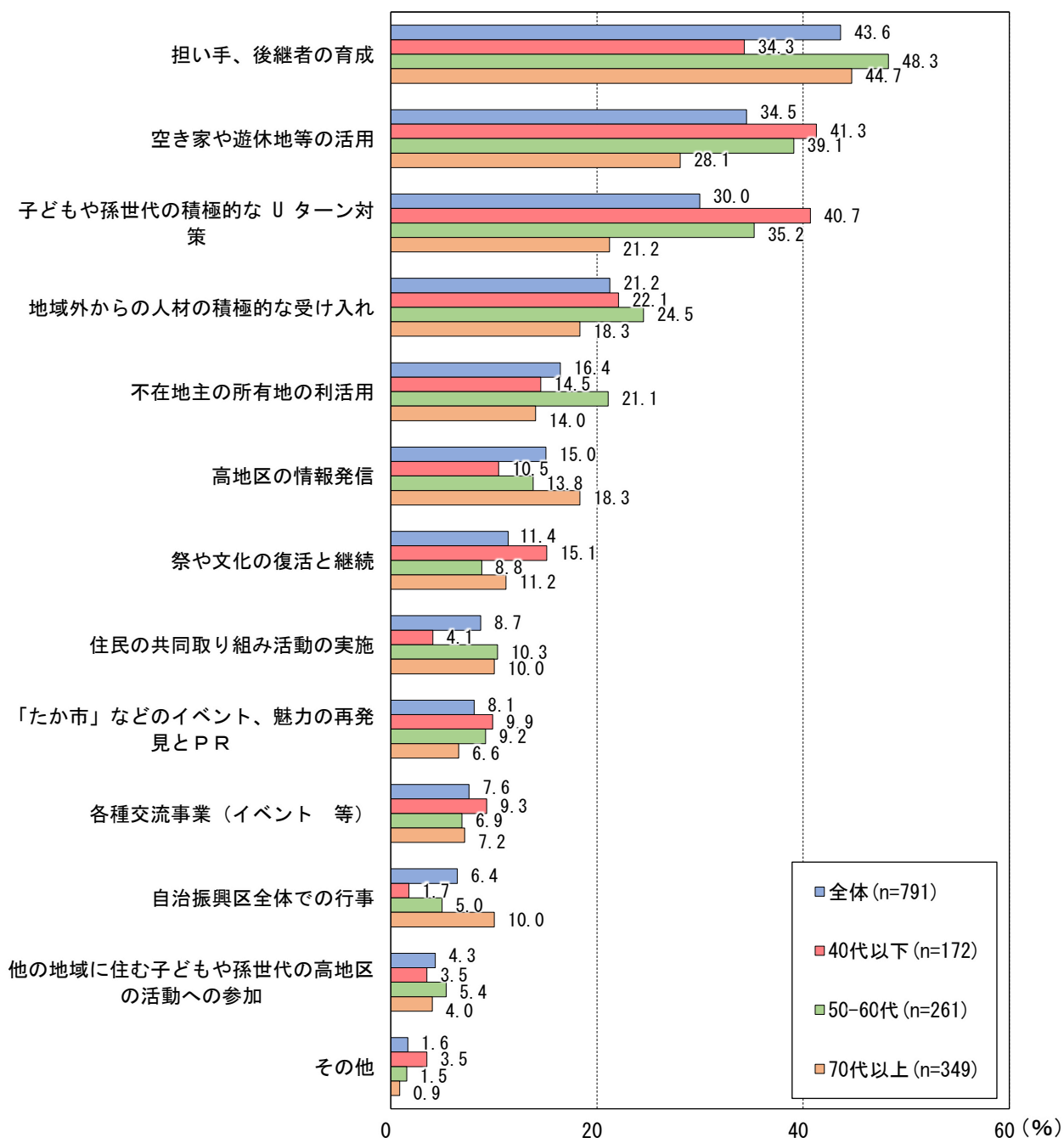


問 10 高地区に暮らし続けるために必要と思われる取り組みを選んでください。

○高地区に暮らし続けるために必要と思われる取り組みについて、「担い手、後継者の育成」が4割を超え最も多く、次いで「空き家や遊休地等の活用」が34.5%、「子どもや孫世代の積極的なUターン対策」が30.0%となっています。

○年齢別にみると、50-60代、70代以上は「担い手、後継者の育成」が4割を超えて多くなっているのに対し、40代以下では「空き家や遊休地等の活用」、「子どもや孫世代の積極的なUターン対策」が4割を超え特に多くなっています。

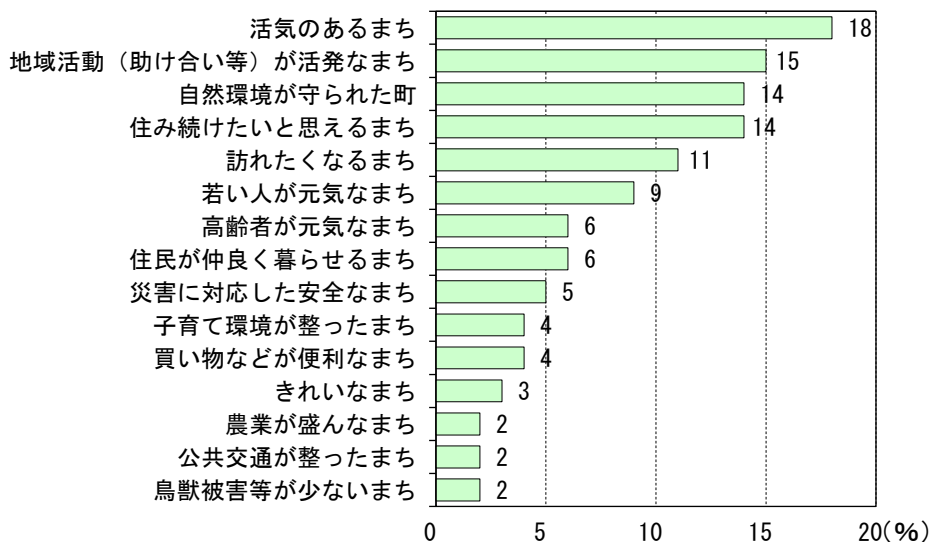
図 26 暮らし続けるために必要な取り組み



問11 高地区をどんな「まち」にしたいですか。

○高地区をどんな「まち」にしたいかを聞くと、「活気のあるまち」という趣旨の記述が最も多く、次いで「地域活動（助け合い等）が活発なまち」、「自然環境が守られた町」、「住み続けたいと思えるまち」の順となっています。

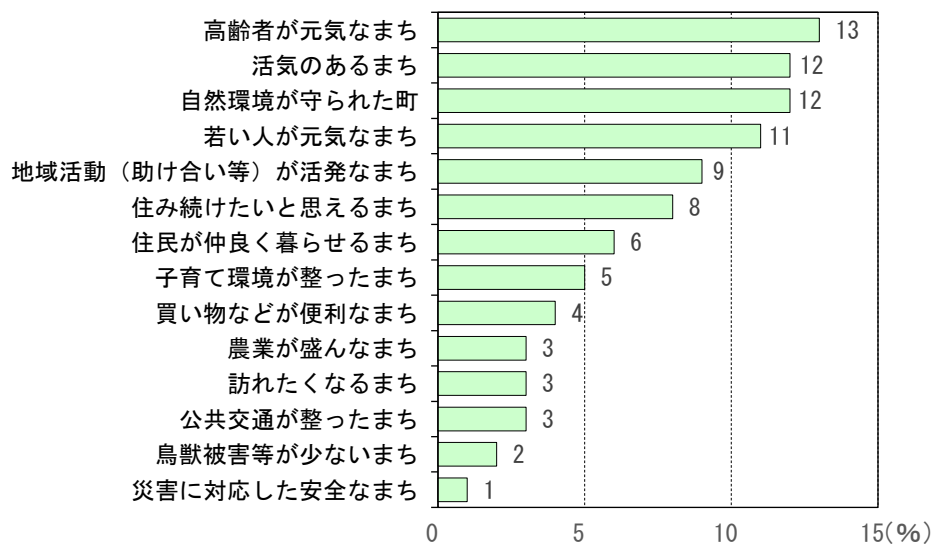
図27 高地区をどんな「まち」にしたいか



問 12 あなたが思い描く「理想の高地区」の姿を教えてください。

○思い描く「理想の高地区」の姿を聞くと、「高齢者が元気なまち」という趣旨の記述が最も多く、次いで「活気のあるまち」、「自然環境が守られた町」の順となっています。

図 28 思い描く「理想の高地区」の姿



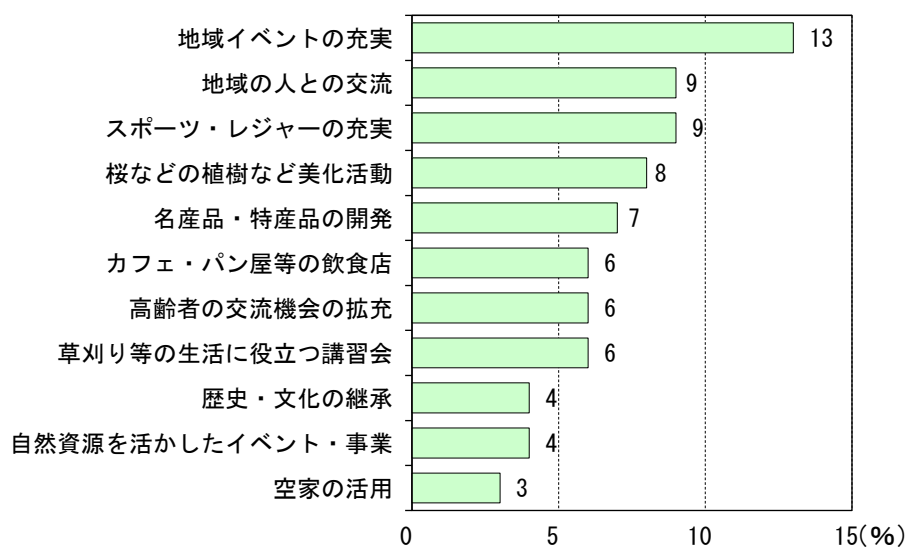
## 5. 参加したいこと、やってみたいことについて

問 13

あなたが、「参加してみたい」、「あれば良いと思うもの」、「実現したい夢」につながる行事や取り組みがありましたら、自由にお書きください。

- 「参加してみたい」、「あれば良いと思うもの」、「実現したい夢」につながる行事や取り組みを聞くと、「地域イベントの充実」に関する記述が最も多く、次いで「地域の人との交流」、「スポーツ・レジャーの充実」の順となっています。

図 29 参加したいこと、やってみたいこと

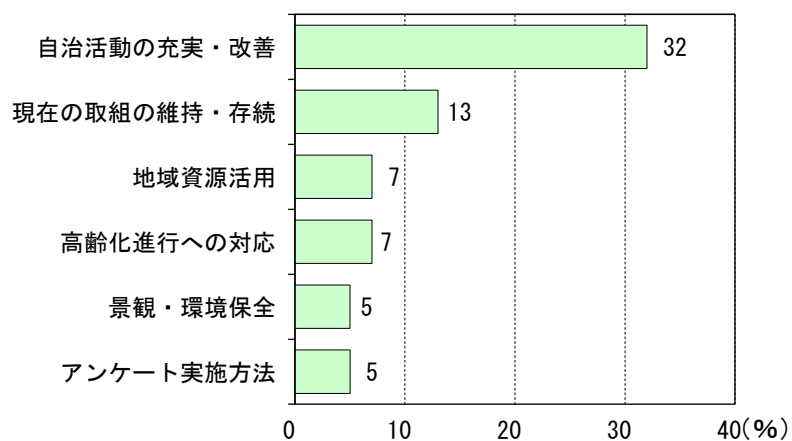


## 6. 地域づくり、活動全般への意見など

問 14 自治振興区、自治会に対してご意見、ご要望がありましたら何でもお書きください。

○自治振興区、自治会に対しての意見、要望を聞くと、「自治活動の充実・改善」に関する記述が最も多く、次いで「現在の取組の維持・存続」、「地域資源活用」の順となっています。

図 30 地域づくり、活動全般への意見など





## 2. 地域住民アンケート調査票

### 高自治振興区 「地域振興計画」 アンケート ～ご協力のお願い～

平成17年の1市6町の合併を契機に、自治振興区組織が結成され、高自治振興区は、10自治会（高取・上組・市場・貝六・三協・夜灯・下川西・中川西・上川西・小用）の構成でスタートしました。当時の区内の人口は、476世帯1,540人でしたが、令和3年10月現在では、472世帯1,170人と減少しています。

私たちは、自治会や班の行事を通じて相互に交流し、地域活動や伝統的な行事などを継承しながら生活しています。

一方で、少子高齢化と人口減少が進行し、若者の都市圏への流出が絶えない状況となっており、今後、どのように地域を維持するかが重要な課題となっています。人口が減少し、縮小する地域社会の中にあっても、「高（たか）」への愛着と誇りを醸成し、幸せを感じながら安心して暮らせる地域をめざしていく必要があります。

「高（たか）」の美しい景観と、自治会や班を中心とした、地域活動を維持していくためにも、将来において『住み続ける』、『戻り住む』、『新たな生活を送る』“地”として、住んで良かったと思える「高（たか）」を目標に、今後10年間の地域づくりの指針となる「地域振興計画」を策定し、自治振興区活動に取り組んで参りたいと考えています。

つきましては、広く皆様のご意見をお聞きする『アンケート』を実施し、計画策定に活かしたいと思えます。誠にお手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、是非とも、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### アンケート記入の注意点（お願い）

##### 1. 調査対象者

- 高校生以上で高地区に在住の方全員を対象とします。
- このアンケートは、対象者の方ご本人のご意見をお伺いすることが目的です。不在（進学、施設入所等）の方を代理して記入していただくなくてもよろしいのでその方のアンケート用紙は、白紙のままお返してください。

##### 2. 秘密の保持

- アンケートは無記名です。率直な考えをお答えください。統計的に集約され、個人が特定されることはありません。
- 記入後のアンケート用紙は、必ず回収用封筒に入れ封をして回収に訪れた役員さん等へお渡しください。

##### 3. 積極的な協力について

- アンケート結果を踏まえ、議論を重ね、高自治振興区のあるべき姿へ向けた計画を皆さんにお示しするために重要なものです。どうぞ趣旨にご賛同いただき、対象者の方全員がお答えいただきますよう、重ねてお願いいたします。

##### 4. 回収目標日

- アンケートの回収目標日は、**7月29日(金)**です。ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

# 高地区「地域振興計画」アンケート

## 1. お答えいただく方にお聞きします。

該当するものに ○ をつけてください

1. 性別	1. 男性	2. 女性			
2. 年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
	6. 60代	7. 70代	8. 80歳以上		
3. 家族構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子の二世帯世帯 4. 親と子と孫の三世帯世帯 5. その他 ( )				
4. 地域 (自治会名)	1. 高取	2. 上組	3. 市場	4. 貝六	5. 三協
	6. 夜灯	7. 下川西	8. 中川西	9. 上川西	10. 小用

## 2. 高自治振興区の生活環境について、お聞きします。

問1 あなたがお住まいの地域（自治会・班）や高自治振興区の環境についてどのようにお考えですか。（満足度の数字を ○ で囲んでください。）

地域の環境	満足度				
	1 満足	2 まあ満足	3 どちらでもない	4 やや不満	5 不満
(1) 就業の場（集落外への通勤のしやすさを含めて）	1	2	3	4	5
(2) 市中心部までの道路の整備状況	1	2	3	4	5
(3) 公共交通（路線バス、列車、タクシーなど）	1	2	3	4	5
(4) 外出の移動手段（家族による送迎、自家用車等）	1	2	3	4	5
(5) 保健や福祉サービス（利用のしやすさを含めて）	1	2	3	4	5
(6) 子育て・子どもの教育（保育所、小学校等）	1	2	3	4	5
(7) コミュニティ（自治会など）のまとまり	1	2	3	4	5
(8) 災害（土砂災害、大雪等）時の安心	1	2	3	4	5
(9) 隣近所とのつながり（コミュニティ活動等）	1	2	3	4	5
(10) 買い物のしやすさ	1	2	3	4	5
(11) 住みやすさ	1	2	3	4	5
(12) その他（地域の環境で感じていることを具体的にお書きください。）					

問2 現在お住まいの地域に、将来も住み続けますか。（○は1つだけ）

1 住み続ける
2 施設入所などで転居せざるを得ない
3 どちらともいえない
4 転居（転出）したい
5 転居（転出）する

※ 2～5に○をされた方は、問4にお進みください。

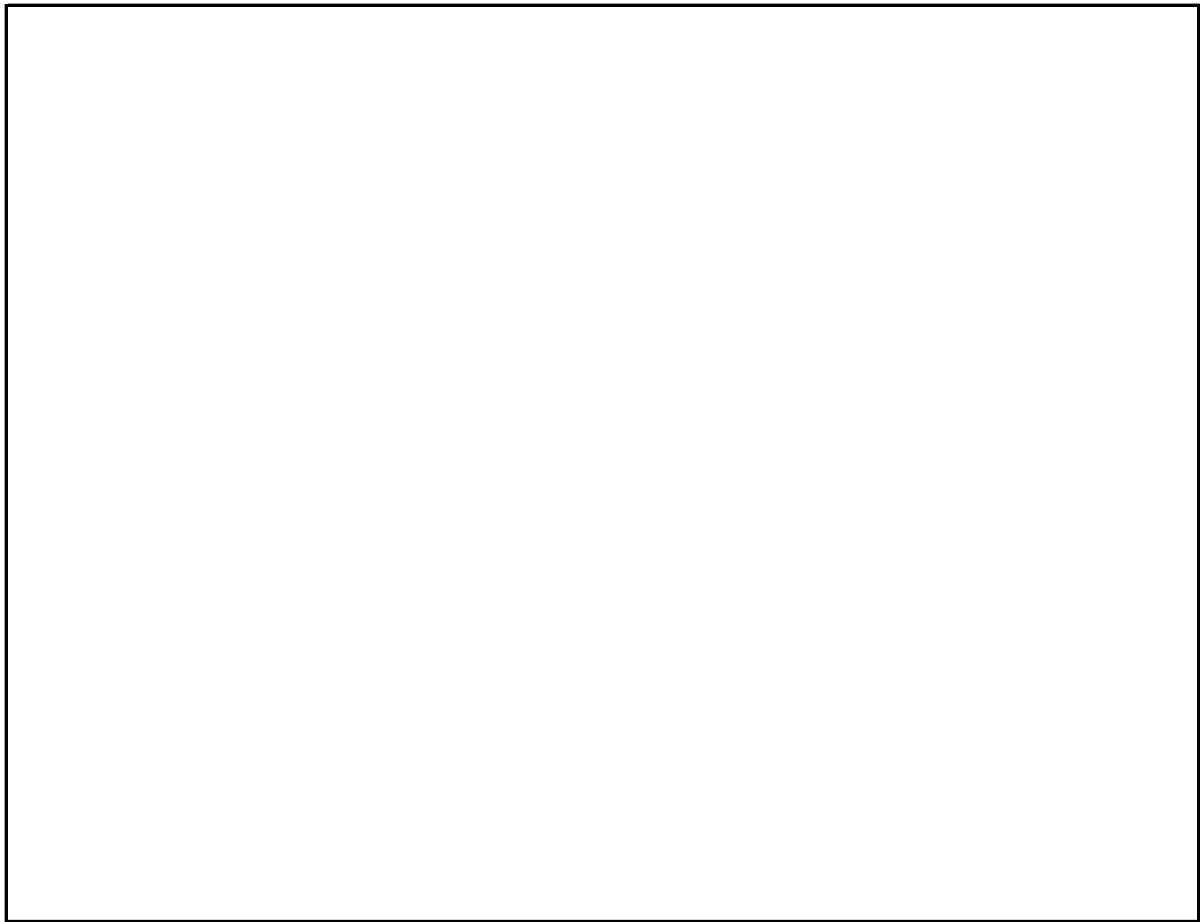
問3 問2で「住み続ける」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。（○を2つまで）

1 田畑・山林があり、管理しているから
2 隣近所の付き合いがあり安心できるから
3 先祖の墓や仏壇等の管理があるから
4 現在地で満足して住んでいるから
5 仕事があるから
6 他地域へ転居するにはお金がかかりすぎるから
7 その他（具体的に）

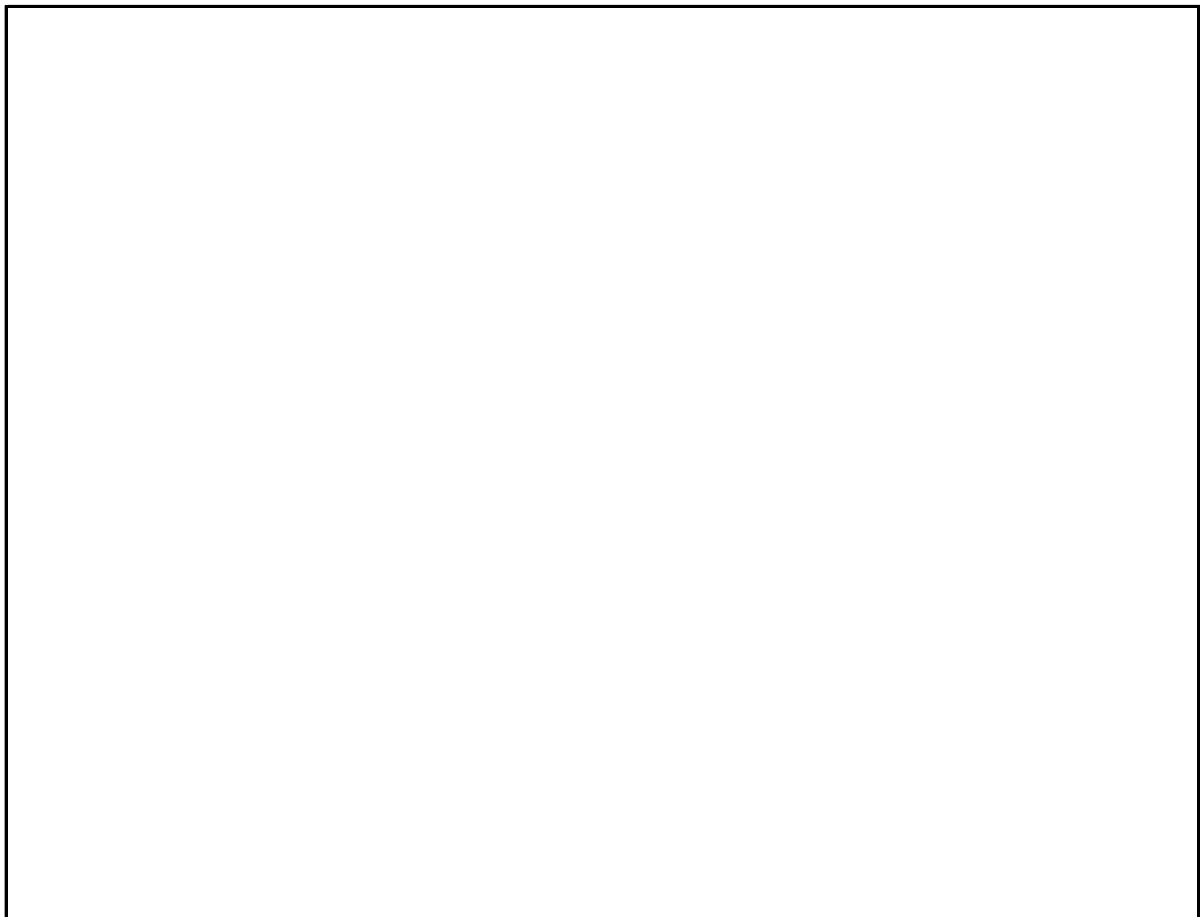
問4 生活していく上で困っているもの、不安だと考えていることは何ですか。（○をいくつでも）

1 農地、山林の管理や鳥獣被害対策（イノシシ 等）
2 住宅の老朽化など住まいのこと
3 住宅の周りなどの草刈りや草取り
4 子（孫）の教育、進学のこと
5 就職、就業、起業のこと
6 普段の交通手段のこと
7 買い物をすること
8 健康づくり、福祉のこと
9 病気・通院のこと
10 家の跡継ぎ（後継者）のこと
11 地域の行事・催し物のこと
12 その他（具体的に）

問5 高地区の課題と感じるところは何ですか。  
(自由記入)



問6 自分たちの力で、課題を解決できるアイデアがあれば教えてください。  
(自由記入)



**3. これまでの自治振興区、自治会の取り組みについて、お聞きします。**

問7 これまで以下のような取り組みを行っています。

① よく知っている又は参加しているものに、◎ を付けてください。

② 聞いたことがあるものに、○ を付けてください。

- |   |
|---|
| 1 「高自治振興センターだより」の発行                         |
| 2 イベントなどの開催（ふるさと祭、盆踊り、のろし上げ 等）              |
| 3 生涯学習活動（絵手紙教室、料理教室 等）                      |
| 4 高齢者向けの取り組み（花を贈る活動、健康づくり教室 等）              |
| 5 地域共同の取り組み（支え合い見守りネットワーク事業、敬老会 等）          |
| 6 子どもと高齢者が交流する取り組み（放課後子ども教室 等）              |
| 7 研修事業（良い取り組みをしている地域を視察する研修会 等）             |
| 8 その他（ <span style="float: right;">）</span> |

**4. 高地区の好きなところ、自慢できるところについてお聞きします。**

問8 高地区の好きなところ、自慢できるところはどのようなものでしょう。  
（○ をいくつでも）

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1 佐田谷・佐田峠墳墓群、唐櫃古墳 | 7 歴史的な社寺       |
| 2 秋の例大祭の舞打ち       | 8 横目堂のイチイ      |
| 3 西城川での鮎漁         | 9 田園風景         |
| 4 松茸、香茸などの山の幸     | 10 ふるさと祭、盆踊り   |
| 5 要害山             | 11 人と人とのつながり   |
| 6 芸備線 高駅          | 12 全体的に住みよいところ |

- 13 その他  
好きなところ、自慢できるところ（場所、特産品、名物）などで、大切に  
する必要があると感じていることを具体的にお書きください。

5. 高自治振興区の今後の取り組みについてお聞きします。

問9 高自治振興区は、今後どのような活動に取り組んでいくべきでしょうか。  
 (○を3つまで)

1 農地、山林の活用
2 地域にある資源の活用
3 人材の活用
4 地域の歴史・文化の継承と活用
5 特産品の開発と生産
6 市場、カフェ、地域食堂などを開催できる環境
7 高地区出身の人、大学生との交流
8 花の里”たか”などの景観づくり、桜の植樹と保存
9 助け合い、支え合い、地域福祉活動
10 世代間交流の促進
11 地域の困りごとを支援する”お助け隊”の組織化
12 地域交通（バス、列車、市民タクシー、買い物支援）の在り方
13 若い人が興味を持てる、参加したいと思う行事の企画
14 その他（ )

問10 高地区に暮らし続けるために必要と思われる取り組みを選んでください。  
 (○を3つまで)

1 担い手、後継者の育成
2 各種交流事業（イベント 等）
3 「たか市」などのイベント、魅力の再発見とPR
4 高地区の情報発信
5 住民の共同取り組み活動の実施
6 祭や文化の復活と継続
7 空き家や遊休地等の活用
8 地域外からの人材の積極的な受け入れ
9 子どもや孫世代の積極的な U ターン対策
10 他の地域に住む子どもや孫世代の高地区の活動への参加
11 不在地主の所有地の利活用
12 自治振興区全体での行事
13 その他（ )

問 11 高地区をどんな「まち」にしたいですか。  
(自由記入)



問 12 あなたが思い描く「理想の高地区」の姿を教えてください。  
(自由記入)



6. あなたが参加したいこと、やってみたいことについてお聞きします。

あなたが、「参加してみたい」、「あれば良いと思うもの」、「実現したい夢」につながる行事や取り組みがありましたら、自由にお書きください。

7. 最後に地域づくり、活動全般へのご意見などをお聞きします。

自治振興区、自治会に対してご意見、ご要望がありましたら何でもお書きください。

ご協力ありがとうございました。  
今後、アンケートを集約し、分析・解析した上でワークショップなどを開催し、策定委員会を経て「地域振興計画」を策定します。  
今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



### 3. 計画策定ワークショップのまとめ

#### 第1回 高自治振興区 地域振興計画策定に伴うワークショップ（まとめ）

- 日 時 : 2022年11月28日（月） 18:30~20:30
- 場 所 : 高自治振興センター
- テーマ : 地域課題（困りごと）についての深堀
- 参加者 : 12名
- 内 容 : 2グループに分かれて実施
  - ・第1グループ（次世代育成、活性化） 6名
  - ・第2グループ（安全安心、地域福祉） 6名

#### ◆第1回ワークショップでの主な意見

分類	課題(困りごと)	課題解決のために 関わる主体	解決方法など
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段が少ない</li> <li>・バス停まで遠い</li> <li>・買物、通院等で、車の運転が出来ない人への支援が必要</li> <li>・市民タクシー制度は、統制(地域で週2回まで)を取る人がなく、公平に利用出来ていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・市民タクシー</li> <li>・民間タクシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内タクシー制度の維持には費用がかかる</li> </ul>
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の一人暮らしが多い</li> <li>・高齢化がすすみ10年後の地域状況が心配</li> <li>・高齢者で1人暮らしの人は心配で見守りが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・自治振興区</li> </ul>	
少子化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが少なく、産まれない</li> <li>・家族内で、姑から嫁へ子育ての知恵が伝わりにくいことがある</li> <li>・子どもたちが安心して遊べる公園がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・自治振興区</li> </ul>	
買物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物難民となっている人が見受けられる</li> <li>・コンビニのような店(ひと通りのものがそろ)がない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生協、移動販売車の活用</li> </ul>

分類	課題(困りごと)	課題解決のために 関わる主体	解決方法など
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所が遠くて、地域内住民の顔や様子がわからない</li> <li>・子ども達と高齢者が一緒にできる行事が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治振興区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内で、子どもから高齢者までが一緒になって出来る行事の開催(今年の高駅の野菜販売)</li> <li>・行事開催時、小中学生だけでなく、高校生にも声かけ</li> <li>・助成金の活用</li> </ul>
農業・商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人も集える元野菜や果物を使ったカフェや食堂があれば良い</li> <li>・農業を楽しむため、季節に応じた地域でのマルシェ開催</li> <li>・食品加工や野菜販売を手掛ける若い人が出てきてほしい</li> <li>・近くに道の駅があれば、農産物を販売できる</li> <li>・古墳 PR 不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・自治振興区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食彩館ゆめさくら」の活用</li> <li>・PR(チラシ作成など)</li> <li>・修学旅行生の受け入れ</li> <li>・県立大学生の参加</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西城川の水力が活用されていない</li> <li>・高地区全体で農産物加工場を作ってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・自治振興区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水力発電などの実現(自家発自家消費、売電)</li> </ul>
環境・鳥獣被害など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多くなり荒地や空き地が増</li> <li>・空き家が増えている</li> <li>・猪や鹿が農作物を荒らし困っている</li> <li>・街灯が少ないため暗くて怖い</li> <li>・横断歩道が少なく、バス停から渡る(子ども)のが危険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・自治振興区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有志による草刈り、草刈り隊</li> <li>・外部から来てもらう</li> <li>・シルバー人材へ依頼</li> <li>・空き家バンクの活用</li> </ul>
災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、梅雨時期が川の増水が不安</li> <li>・災害時の避難場所や避難の促し方がよくわからない</li> <li>・避難所に不備がある?避難路が不明</li> <li>・消防団員の欠員の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・自治振興区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班長が要支援者に避難について確認</li> <li>・避難時には近隣への声掛けするなど</li> <li>・地域内は、声掛けできているのではないか</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの、ふる里に関する教育が不足</li> <li>・振興行事として、宮の歴史、古墳など、昔の話が聞きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> <li>・自治振興区</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高小学校の給食室が遊休設備となっており、イベント開催時に調理等で活用できないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政</li> </ul>	

## 第2回 高自治振興区 地域振興計画策定に伴うワークショップ（まとめ）

- 日 時 : 2022年12月9日（金） 18:30～20:30  
 ○場 所 : 高自治振興センター  
 ○テーマ : 高地区の魅力・強み・活かし方を考える  
 ○参加者 : 8名  
 ○内 容 : 高地区の魅力・強みを出しあって再確認し、その活かし方のアイデアや取り組み方法を検討

### ◆第2回ワークショップでの主な意見

#### ○高地区の魅力・強み

分類	魅力・強み		
自然・風景 (山・川など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西城川(菜の花など)</li> <li>・フィッシャーレイク(霧や夕焼けがきれい)</li> <li>・カブトムシ採りができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイロの並ぶ風景</li> <li>・大自然</li> <li>・ホテル観賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜空が澄んでいて星座の学習ができる</li> </ul>
人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鮎釣り</li> <li>・松茸狩り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊レンジャー</li> <li>・さつまあげ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投網づくり</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代が、都市部と比較して元気</li> </ul>		
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人との深い繋がりがあある</li> <li>・近所同士でお裾分けがあある</li> <li>・地域貢献してくれる人があ多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外で出会うと声掛けしてあくれる</li> <li>・外部からの人を受け入れてあくれる</li> <li>・学校、保護者、地域の関係があ密</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で子育てをしてあくれる</li> <li>・子供と大人との繋がりがあある(きのこ会)</li> <li>・お困りごと事業</li> </ul>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高地区内に保育所、小学校があある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵手紙、習字教室があある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ECC 英会話教室があある</li> </ul>
農業・産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜がおいしい</li> <li>・えごま(お茶、油)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自給自足ができる安全な食品生産</li> <li>・比婆牛、乳牛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕種部門と有畜の合体</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気が澄んでいる</li> <li>・排気ガスがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山の枯れ枝で、薪ストーブがあできる</li> <li>・宅地があ広い</li> </ul>	
行事・イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そば祭り、ふるさと祭り、盆踊り</li> <li>・高駅での青空市場(高校生との関わり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を知るイベントがあある(のろし上げ)</li> <li>・小学校や保育所と地域住民との活動(芋掘り、菊の栽培等)</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭によって雑煮の味が異なる</li> </ul>		

○高地区の魅力・強みの活かし方

分類	内容	効果・課題
・交流 (地域内、地域外、世代間、同世代) ・立地特性の活用 ・地域資源の有効活用	・小中校生と一緒に、高地区を歩くイベント (またはママチャリで走る)	・地域内、世代間交流 ・地域内の新たな魅力発見
	・西城川付近のウォーキングイベント	・トイレの設置 ・地域内の新たな魅力発見
	・子ども神輿の開催	・ちょっとしたおひねりで満足感や達成感を得ることが可能 ・伝統行事への価値醸成
	・サイクリング、ヒルクライムの開催 (グリーンフィッシュ付近)	・高地区への来訪 ・イベント参加を通じた、高地区の魅力発見
	・高地区の魅力を地域外へ情報発信	・高地区への来訪
	・イベントにあわせた加工品の販売	・購入され喜んでもらうことで、生産者の満足感を得る ・高地区への来訪
	・泥地フラッグ大会(ビーチフラッグの田んぼ版)の開催	・大人も子供も楽しめるイベント
	・春先の田んぼをれんげ畑にする	・映え効果による高地区への来訪
	・JR 沿線にコスモスを植える	・映え効果による高地区への来訪 ・JR との調整が必要
	・「たからちゃん」の着ぐるみ制作、イベント参加	・イメージキャラクターの PR、集客
・学びの場づくり ・高(光)齢者など地域の達人の活用	・高齢者の知恵を活用した体験イベント (しめ縄・草履・お手玉づくりなど)	・子どもへの知恵の継承
	・農業学習ワークショップ	・子どもへの知恵の継承
・その他	・空き家の活用	・イベント時の休憩やトイレとして活用できないか
	・高小学校給食室の有効活用 (加工場としての利用など)	・「ゆめさくら」で販売する加工品(餅など)の生産性の向上

○キーワード(～こんな「地域」になるといいな～)

分類	キーワード
自然	・花がいっぱい ・豊かな自然と穏やかな暮らし ・エンゼルの輝く里
農産業	・野菜や作物が多く採れる ・牛の餌やり、乳しぼりが体験できる
生活・環境	・ハロウィンパーティーの開催 ・「お互い様」「ありがとう」が飛び交う地域 ・情報共有ができスムーズな動きと深い生活ができる

### 第3回 高自治振興区 地域振興計画策定に伴うワークショップ（まとめ）

- 日 時 : 2023年1月11日（水） 18:30～20:30  
 ○場 所 : 高自治振興センター  
 ○テーマ : まちづくりの将来像のキャッチコピーの検討  
 高自治振興区でこれから具体化していくプロジェクトのイメージ  
 ○参加者 : 9名  
 ○内 容 : 2グループに分かれて実施  
 ・第1グループ（次世代育成、活性化） 4名  
 ・第2グループ（安全安心、地域福祉） 5名  
 計画の将来像のキャッチコピーのアイデアを検討し、その後、これまで2回の議論を踏まえ、計画の中で具体的に推進すべき事業の絞り込みを実施

#### ◆第3回ワークショップでの主な意見

##### ○キャッチコピー

分類	関連する言葉など	
つながり・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔の見える地域</li> <li>人と人がふれあう地域</li> <li>高・小用の一体感</li> <li>地域のつながりの再構築</li> <li>世代間の交流があるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔がわかる付き合いのあるまち</li> <li>つながり</li> <li>ふるさと祭りがなくなった</li> </ul>
農のある暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地で暮らそう</li> <li>高らしい暮らしの実体験の創出</li> <li>農を中心とした集まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のろしりレー</li> <li>牛が見れる環境</li> </ul>
地域の宝としての自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>輝く地域</li> <li>豊か（ゆ“高”）な</li> <li>お宝（お“高”ら）いっぱい</li> <li>宝がいっぱい高町～すてきな人、すばらしいもの、たのしいこと～</li> <li>花のある道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大黒目要害山登山</li> <li>おだやかな暮らし</li> <li>星空</li> <li>夕日</li> </ul>
人が育つまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康な体づくり</li> <li>地域が一体となって取り組めるイベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもイベントなら地域でがんばれた（子ども）</li> <li>子どもたちとの交流を守る</li> </ul>
文化のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>田んぼアート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の里</li> </ul>
継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>世代間での地域の伝統伝える環境がとだえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐田神社、八幡神社、系統が違う 伝統をつなげにくい状況</li> </ul>

○推進すべき事業

分類	事業イメージ	
既存イベントの充実	・盆踊り ・ふる里祭り	・しめ縄づくり(大人と子どもと一緒に)
賑わいを創出する仕掛け	・1000本桜づくり(10年かけて、川沿いなど)	・レンゲ畑、菜の花畑、コスモス
地域の周遊	・ママチャリでコース巡り ・ウォーキングコースづくり	・古墳巡り
集いの場の確保	・いきいきサロン活動の充実 ・子どもミュージカルにつながる教室	・ハロウィン関連コーラス教室
地域食堂の開催	・地域食堂(子ども食堂)の開催	
農業を守る仕組みづくり	・担い手、組織間での連携	・農業組織中心に守る
集うための交通手段確保	・交通手段の確保 ・ワンコインタクシーの有効活用	・集まりやすい場でのイベント
助け合いの仕組み拡充	・ありがとうの会の拡充	・草刈り応援隊の拡充

## ワークショップ参加者名簿

(敬称略・50音順)

No.	氏名	No.	氏名
1	入江 俊雄	9	徳永 まどか
2	入谷 弘之	10	林 春幸
3	植木 景子	11	原田 雅子
4	片山 由貴枝	12	三浦 忍
5	佐々木 弘子	13	森岡 尚美
6	妹尾 美佐	14	柳井 妙子
7	戸井 萬芳	15	六原 三枝
8	戸井 朋子		

## 4. 計画策定委員会の設置要綱および策定参画者名簿

### (1) 高地域振興計画策定委員会設置要綱

#### (趣旨)

第1条 この要綱は、地域の夢や将来像を明らかにし、高地区住民が幸せでいきいきと暮らしていけるよう、地域課題の解決めざすまちづくりビジョン高地域振興計画（以下「地域振興計画」という。）を策定するため、地域振興計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）の設置とその組織運営に関し必要な事項を定める。

#### (所掌事務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 地域振興計画の策定に関すること
- (2) その他必要と認める事項

#### (策定委員)

第3条 策定委員会の委員は、高自治振興区役員会の構成役員をもって充てるものとする。

#### (会長及び副会長)

第4条 策定委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、高自治振興区長とする。
- 3 会長は、策定委員会を総理し会議の議長となる。
- 4 副会長は、高自治振興区副区長とする。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

#### (会議)

第5条 会議は必要に応じて会長が招集する。

- 2 会議は、策定委員の過半数以上の出席をもって開催するものとする。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、策定委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

4 議事は、出席者の過半数をもって決するものとし、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(ワーキング会議)

第6条 策定委員会に地域振興計画の原案を作成するワーキング会議を設置する。

2 ワーキング会議のメンバーは、会長が指名する高自治振興区の事務局職員をもって充てる。

3. ワーキング会議は、必要に応じて、それぞれの分野に知識を有する者を参画させることができる。

4. ワーキング会議は会長が主宰し開催するものとする。

(任期)

第7条 策定委員の任期は、地域振興計画を策定するまでのおおむね1年とする。

2 前項の規定にかかわらず、策定委員が欠けたときの後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第8条 策定委員会の庶務は、高自治振興区事務局において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、公布の日から施行する。



## (2) 計画策定委員会委員名簿

(敬称略)

役職名	自治振興区職名	氏名	所属
振興区長	高自治振興区長	岡野 茂	
副区長	高自治振興区副区長	丸田 信昭	市場自治会
	高自治振興区副区長	田中 幸治	小用自治会
事務局長	高自治振興区事務局長	國林 昌弘	
事務局次長	高自治振興区事務局次長 (地域マネージャー兼任)	米谷 恵子	
会計書記	高自治振興区会計書記	中倉 麻衣子	
自治会長	高取自治会長(振興区役員会構成員)	原田 達也	高取自治会
	上組自治会長(振興区役員会構成員)	松井 永淑	上組自治会
	貝六自治会長(振興区役員会構成員)	武田 英長	貝六自治会
	三協自治会長(振興区役員会構成員)	小林 年春	三協自治会
	夜燈自治会長(振興区役員会構成員)	田村 虎和	夜燈自治会
	下川西自治会長(振興区役員会構成員)	谷川 喜彰	下川西自治会
	中川西自治会長(振興区役員会構成員)	天野 裕宅	中川西自治会
	上川西自治会長(振興区役員会構成員)	大塚 浩司	上川西自治会
専門部長	高自治振興区専門部長(生涯学習)	丸田 信昭	生涯学習部
	高自治振興区専門部長(生活福祉)	森江 光明	生活福祉部
	高自治振興区専門部長(文化教養)	梶川 奈緒美	文化教養部
	高自治振興区専門部長(体育)	松井 康之	体育部
	高自治振興区専門部長(地域振興)	三浦 虎巳	地域振興部

## (3) 計画策定ワーキング会議メンバー名簿

(敬称略)

役職名	氏名
振興区長	岡野 茂
事務局長	國林 昌弘
事務局次長(地域マネージャー兼任)	米谷 恵子
会計書記	中倉 麻衣子
地域マネージャー	大塚 浩司



高地区キャラクター  
たからちゃん

～人口が減少する中にあっても～

幸せを感じる “高” 暮らし

高自治振興区

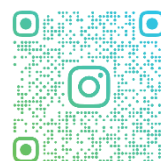
〒727-5811

庄原市高町821-4

TEL/FAX 0824-72-0935

e-mail taka.jichi.ss@gmail.com

<https://takajichi.jimdofree.com/>



@TAKAJICHI  
Instagram